

平成24年度

「南丹市総合振興計画」後期基本計画策定にかかる  
まちづくりアンケート調査結果報告書



平成24年7月  
南丹市企画政策部 企画調整課



## I アンケートの調査の概要

1	調査目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査方法.....	1
4	調査期間.....	1
5	配布状況.....	1
6	調査項目.....	2

## II アンケートの調査結果

1	回答者の属性.....	3
2	総合振興計画策定に係るまちづくりアンケート調査結果比較	
1)	住みごごち.....	7
2)	住みやすい理由.....	8
3)	住みにくい理由.....	9
4)	合併から6年が経過、合併によって良くなったこと.....	10
5)	合併から6年が経過、合併してからの今後期待すること.....	11
6)	合併から6年が経過、合併してからの不満や不安.....	12
7)	将来の南丹市をどのようなまちにしたいか.....	13
8)	南丹市を住みよいまちにするために市民ができること.....	14
9)	自分自身が参加できるまちづくり.....	15

## III アンケートの調査結果

3	まちづくりアンケート調査結果（市民意識調査）	
10)	さまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加している.....	16
11)	さまざまな分野において、大学などとの交流・連携が活発に行われている....	17
12)	安心して子育てできると感じている.....	18
13)	地域で子育てができていると感じている.....	19
14)	子どもたちが適切な教育環境で学んでいると感じている.....	20
15)	安心して医療を受けられる体制だと感じている.....	21
16)	高齢者が安心して暮らせるまちだと感じている.....	22
17)	障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じている.....	23
18)	妊婦の方が安心して暮らせるまちだと感じている.....	24
19)	南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると感じている.....	25
20)	南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入している.....	26

## 目次

2 1)	南丹市の自然環境が適切に守られていると感じている.....	2 7
2 2)	建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと感じている.....	2 8
2 3)	市政について情報が的確に得られていると感じている.....	2 9
2 4)	災害や防犯に関する情報が、市から的確に提供されていると感じている.....	3 0
2 5)	災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている....	3 1
2 6)	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている.....	3 2
2 7)	性別や年齢、国籍などによる差別事象が減っていると感じている.....	3 3
2 8)	過去1年間に、人権に関する学習の取り組みをした.....	3 4
2 9)	税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている.....	3 5
3 0)	南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じている.....	3 6
4	まちづくりアンケート調査結果（市民の意見）	
3 1)	「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を選んだ方の意見.....	3 7
3 2)	「どちらかというに住みにくい」「住みにくい」を選んだ方の意見.....	3 7
3 3)	合併によって良くなったと思える方の意見.....	3 7
3 4)	合併から6年が経過しましたが、今後期待することへの意見.....	3 8
3 5)	合併してからの不満や不安に思う方の意見.....	3 8
3 6)	将来の南丹市をどのようなまちにしたいかの意見.....	3 9
3 7)	住みよいまちにするために、市民の皆さんができることの意見.....	3 9
3 8)	『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができるのか意見.	3 9
3 9)	南丹市が行っている行政サービスに満足できない意見.....	4 0
4 0)	南丹市のまちづくりに対する提案・意見.....	4 0

《参考》 まちづくりアンケート調査票



# アンケート調査の概要

## 1 調査目的

平成20年3月に策定した～「森・里・街がきらめくふるさと 南丹市」をめざして～ 総合振興計画における市民意識や地域づくりの参加状況を把握し、後期基本計画策定のための基礎資料とし、前期計画に掲げた施策の検証と改善を図るための資料とします。

また、本報告書では、前回調査（H18.10）当初計画策定時に実施したまちづくりアンケートの質問項目について、経年変化を確認、比較するため総合計画策定時調査との比較を参考データとして示しています。

あわせて、毎年度実施している市民意識調査項目についても、進行管理のため今回一部設定することとしました。

## 2 調査対象

南丹市に住む16歳以上の市民から2,400人を抽出

## 3 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 4 調査期間

平成24年4月1日～平成24年4月27日

## 5 配布状況

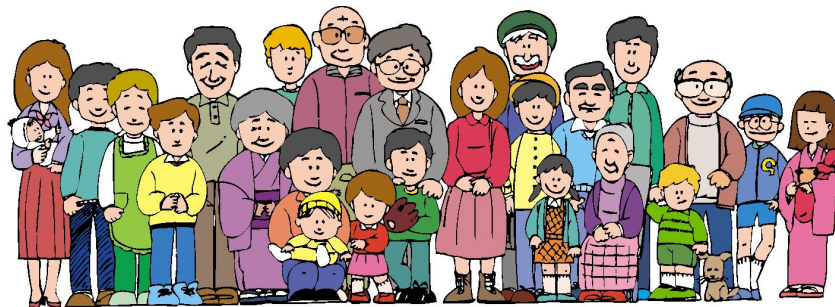
年代	性別	アンケート送付数														
		園部			八木			日吉			美山			計		
		均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計
10歳代	男	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
	女	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
20歳代	男	20	43	63	20	22	42	20	14	34	20	13	33	80	92	172
	女	20	43	63	20	22	42	20	14	34	20	13	33	80	92	172
30歳代	男	20	43	63	20	22	42	20	14	34	20	13	33	80	92	172
	女	20	43	63	20	22	42	20	14	34	20	13	33	80	92	172
40歳代	男	20	43	63	20	22	42	20	14	34	20	13	33	80	92	172
	女	20	43	63	20	22	42	20	14	34	20	13	33	80	92	172
50歳代	男	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
	女	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
60歳代	男	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
	女	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
70歳代以上	男	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
	女	20	43	63	20	22	42	20	13	33	20	13	33	80	91	171
計	男	140	301	441	140	154	294	140	94	234	140	91	231	560	640	1,200
	女	140	301	441	140	154	294	140	94	234	140	91	231	560	640	1,200
合計		280	602	882	280	308	588	280	188	468	280	182	462	1,120	1,280	2,400

	配布数	有効配布数A	回収数B	回収率B/A
今回調査（H24）	2,400	2,400	996	41.5%

## 6 調査項目

1. 住みごちについて
2. 合併に対する評価について
3. 将来のすがたについて
4. まちづくりへの参加などについて
5. 子育てについて
6. 医療・福祉について
7. 商業・生活環境について
8. 防災について
9. 社会問題について
10. 行政サービスについて
11. 自由意見・提案

※本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数値とは一致していません。



# II アンケート調査結果

## 1 回答者の属性

配布数:2,400 人 回答数:996 人(回収率 41.5%)

今回実施した「南丹市総合振興計画」後期基本計画策定に係るまちづくりアンケート調査の回答率は、平成 18 年度の調査より 3.5 ポイント減少となりました。

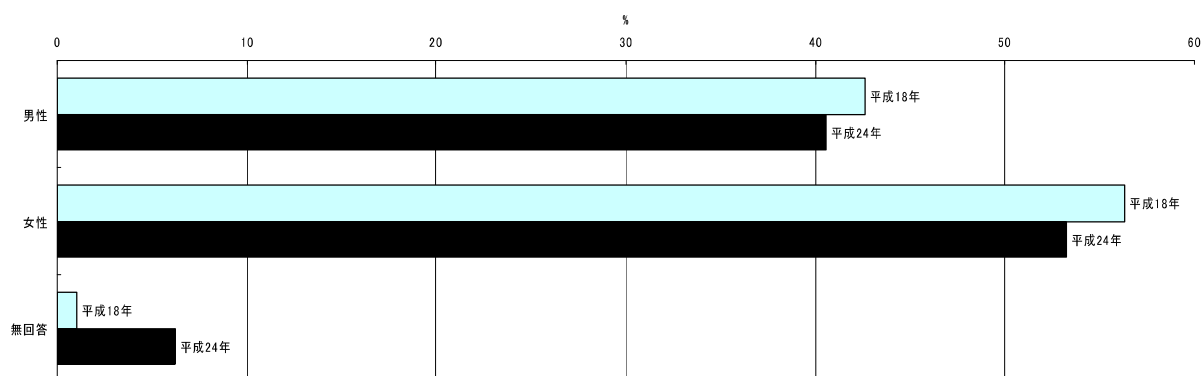
その回答者を男女別・年代別に分析してみると、男性は 20 代の比率が男女の全年代を通じてもっとも低い 8.5%となり、その他は年代が上がるほど比率が高くなる傾向にあります。

一方、女性の場合も、20 代の比率が 10%と低く、男女とも 60 歳代の比率が最も高いという状況になりました。

また、前回調査との比較では全年代の中で 10 歳代の比率が最も多く延びています。

### 性別

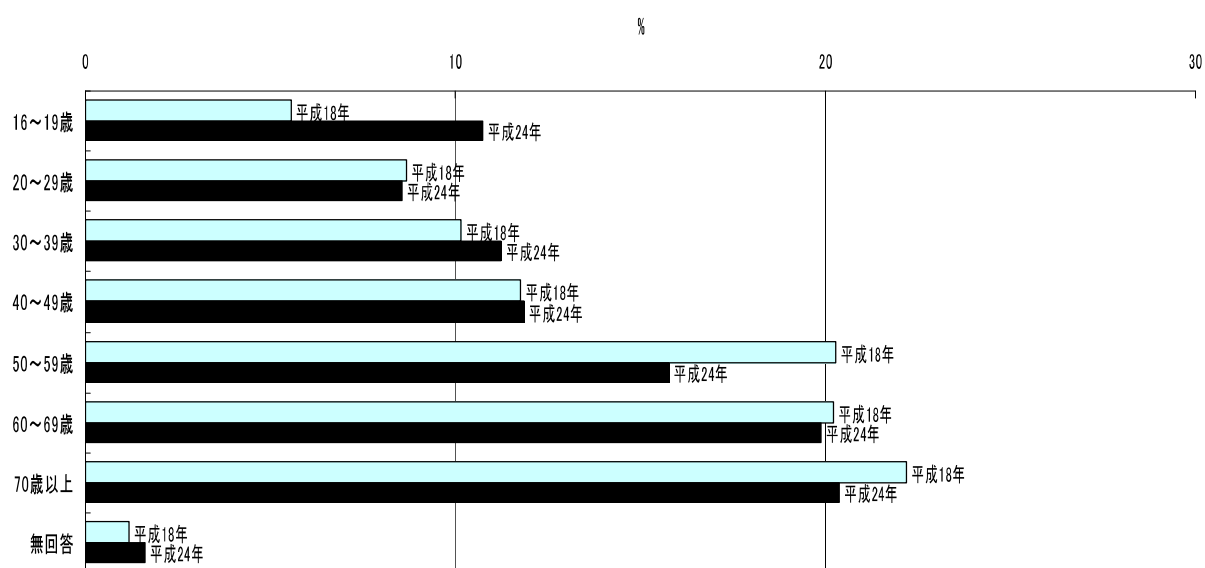
選 択 肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
男性	576	42.6	404	40.6
女性	761	56.3	530	53.2
無回答	14	1.0	62	6.2
合計	1,351	100.0	996	100.0



# アンケート調査結果

## ◆ 年齢

選 択 肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
16～19歳	75	5.6	107	10.7
20～29歳	117	8.7	85	8.5
30～39歳	137	10.1	112	11.2
40～49歳	159	11.8	118	11.8
50～59歳	274	20.3	157	15.8
60～69歳	273	20.2	198	19.9
70歳以上	300	22.2	203	20.4
無回答	16	1.2	16	1.6
合計	1,351	100.0	996	100.0

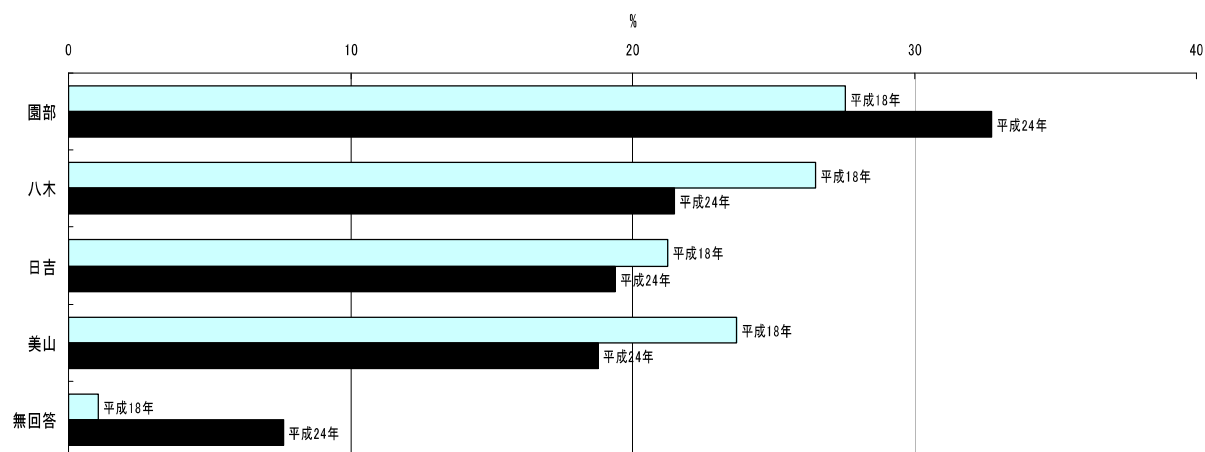




## II アンケート調査結果

### 住所

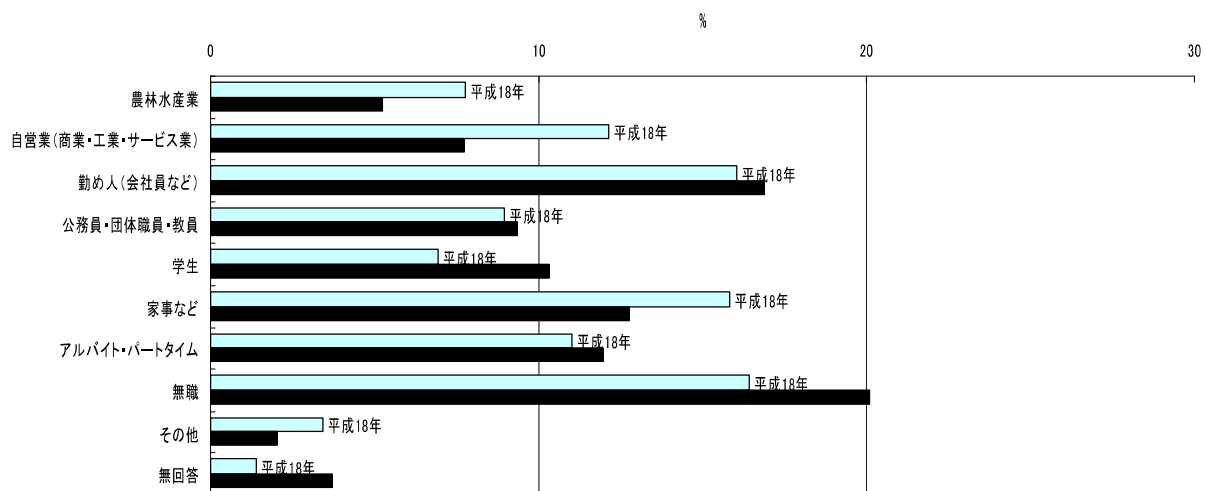
選 択 肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
園部	372	27.5	326	32.7
八木	358	26.5	214	21.5
日吉	287	21.2	193	19.4
美山	320	23.7	187	18.8
無回答	14	1.0	76	7.6
合計	1,351	100.0	996	100.0



# アンケート調査結果

## 職業

選 択 肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
農林水産業	105	7.8	52	5.2
自営業(商業・工業・サービス業)	164	12.1	77	7.7
勤め人(会社員など)	217	16.1	168	16.9
公務員・団体職員・教員	121	9.0	93	9.3
学生	94	7.0	103	10.3
家事など	214	15.8	127	12.8
アルバイト・パートタイム	149	11.0	119	11.9
無職	222	16.4	200	20.1
その他	46	3.4	20	2.0
無回答	19	1.4	37	3.7
合計	1,351	100.0	996	100.0



# II アンケート調査結果

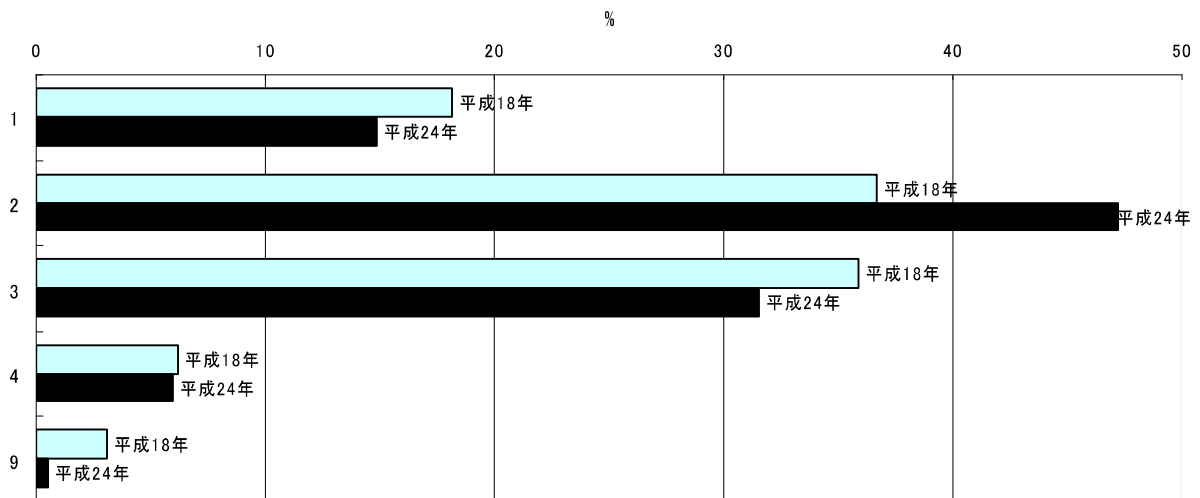
## 2 総合振興計画策定に係るまちづくりアンケート調査結果比較

### ■調査結果の見方

◎この調査結果は、6年前に実施した同様のアンケート調査の結果を並べて比較したものです。  
(単純集計)

### 1 南丹市は住みやすいと思いますか。《1つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 住みやすい	245	18.1	148	14.9
2 どちらかというに住みやすい	496	36.7	470	47.2
3 どちらかというに住みにくい	485	35.9	314	31.5
4 住みにくい	83	6.1	59	5.9
9 無回答	42	3.1	5	0.5
合計	1,351	100.0	996	100.0



○全体では、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計が62.1%、「どちらかというに住みにくい」「住みにくい」の合計が37.4%となっています。前回調査よりも7ポイント強「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」が高くなっています。

○年齢層別では、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計は10～30歳代と70歳以上で高く、40～50歳代でやや低くなっています。

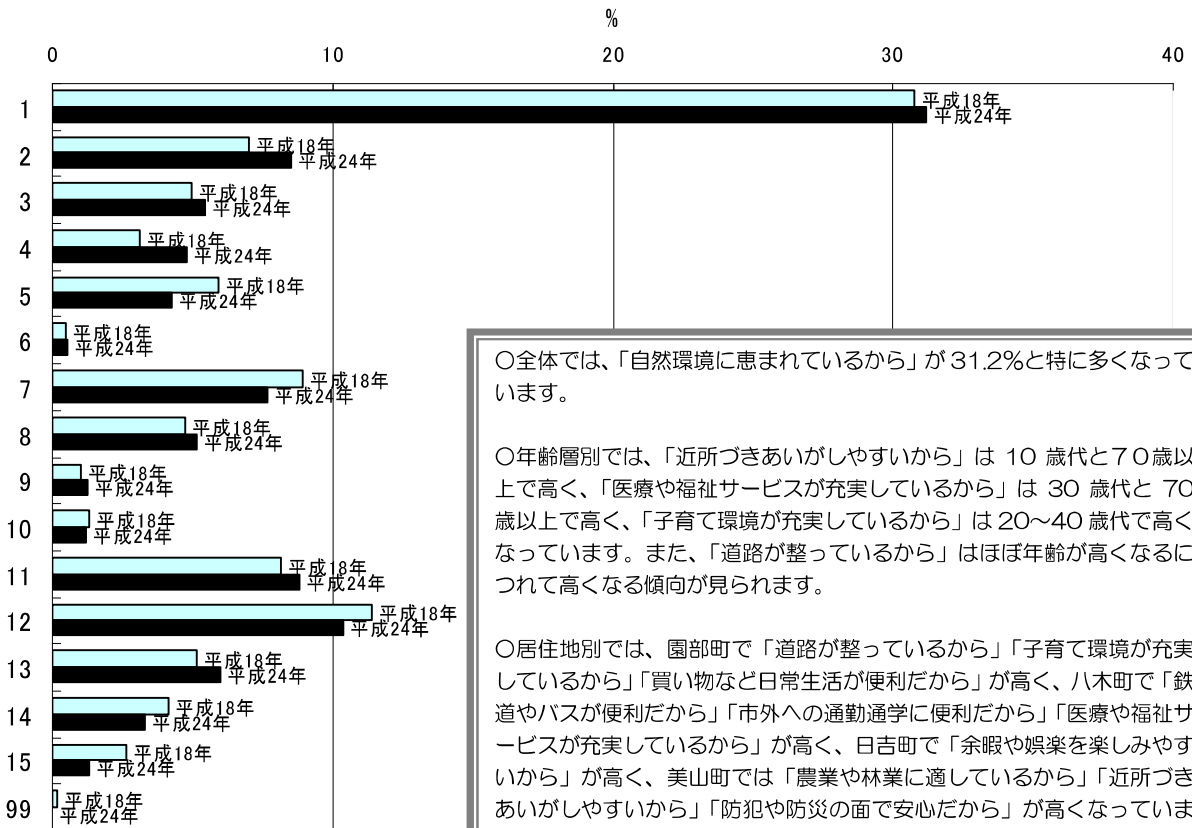
○居住地別では、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計は園部町の住民が高くなっています。

# アンケート調査結果

## 2

住みやすいと思う理由は何ですか。《3つ選択》

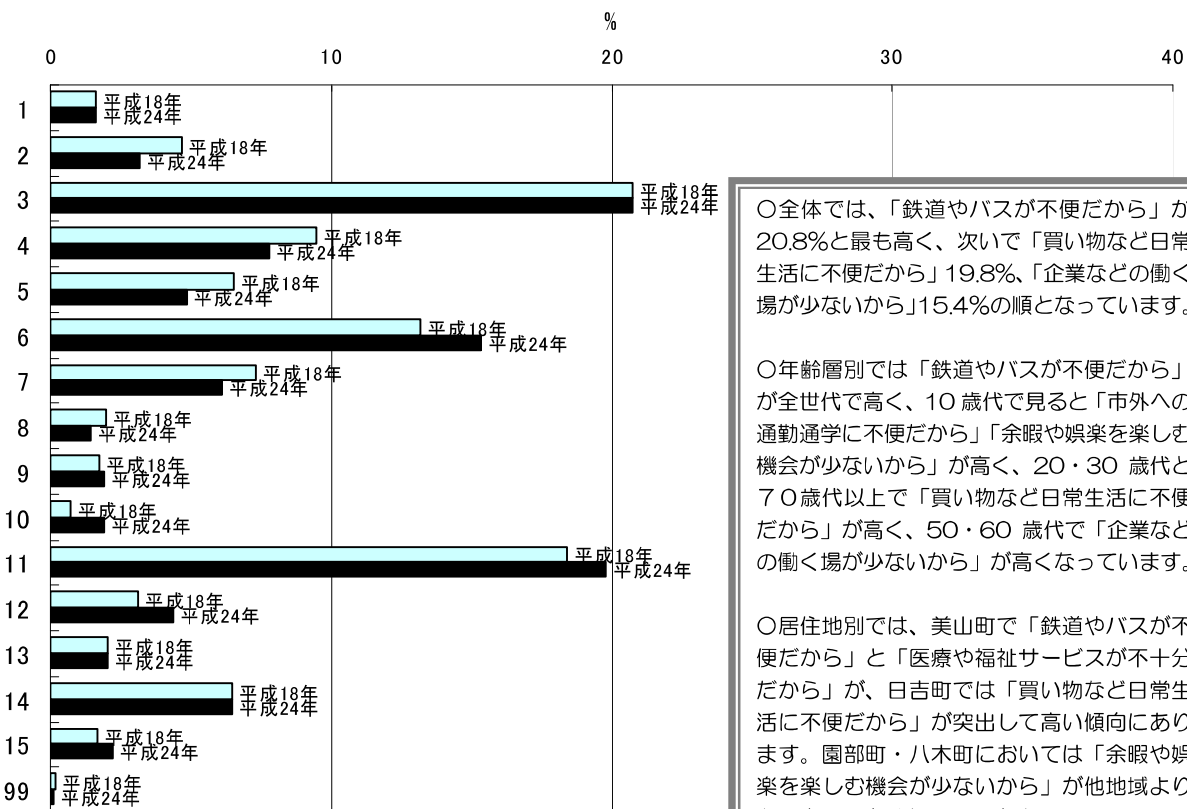
選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 自然環境に恵まれているから	617	30.7	512	31.2
2 道路が整っているから	141	7.0	140	8.5
3 鉄道やバスが便利だから	100	5.0	90	5.5
4 市外への通勤通学に便利だから	63	3.1	79	4.8
5 農業や林業に適しているから	119	5.9	70	4.3
6 企業などの働く場があるから	10	0.5	9	0.5
7 医療や福祉サービスが充実しているから	179	8.9	126	7.7
8 子育て環境が充実しているから	95	4.7	85	5.2
9 教育環境が充実しているから	20	1.0	21	1.3
10 学習やスポーツ活動の機会が充実しているから	27	1.3	20	1.2
11 買い物など日常生活が便利だから	164	8.2	145	8.8
12 近所づきあいがしやすいから	229	11.4	170	10.4
13 防犯や防災の面で安心だから	103	5.1	98	6.0
14 余暇や娯楽を楽しみやすいから	83	4.1	54	3.3
15 その他	53	2.6	22	1.3
99 無回答	4	0.2	0	0.0
合計	2,007	100.0	1,641	100.0



# アンケート調査結果

## 3 住みにくいと思う理由は何ですか。《3つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 自然環境が大切にされていないから	27	1.6	18	1.6
2 道路が整っていないから	77	4.7	35	3.2
3 鉄道やバスが不便だから	343	20.8	227	20.8
4 市外への通勤通学に不便だから	157	9.5	85	7.8
5 農業や林業が厳しいから	108	6.5	53	4.8
6 企業などの働く場が少ないから	218	13.2	168	15.4
7 医療や福祉サービスが不十分だから	121	7.3	67	6.1
8 子育て環境が不十分だから	33	2.0	16	1.5
9 教育環境が不十分だから	29	1.8	21	1.9
10 学習やスポーツ活動の機会が不十分だから	12	0.7	21	1.9
11 買い物など日常生活に不便だから	304	18.4	216	19.8
12 近所づきあいがしにくいから	52	3.1	48	4.4
13 防犯や防災の面で不安だから	34	2.1	22	2.0
14 余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから	107	6.5	71	6.5
15 その他	28	1.7	24	2.2
99 無回答	3	0.2	1	0.1
合計	1,653	100.0	1,093	100.0

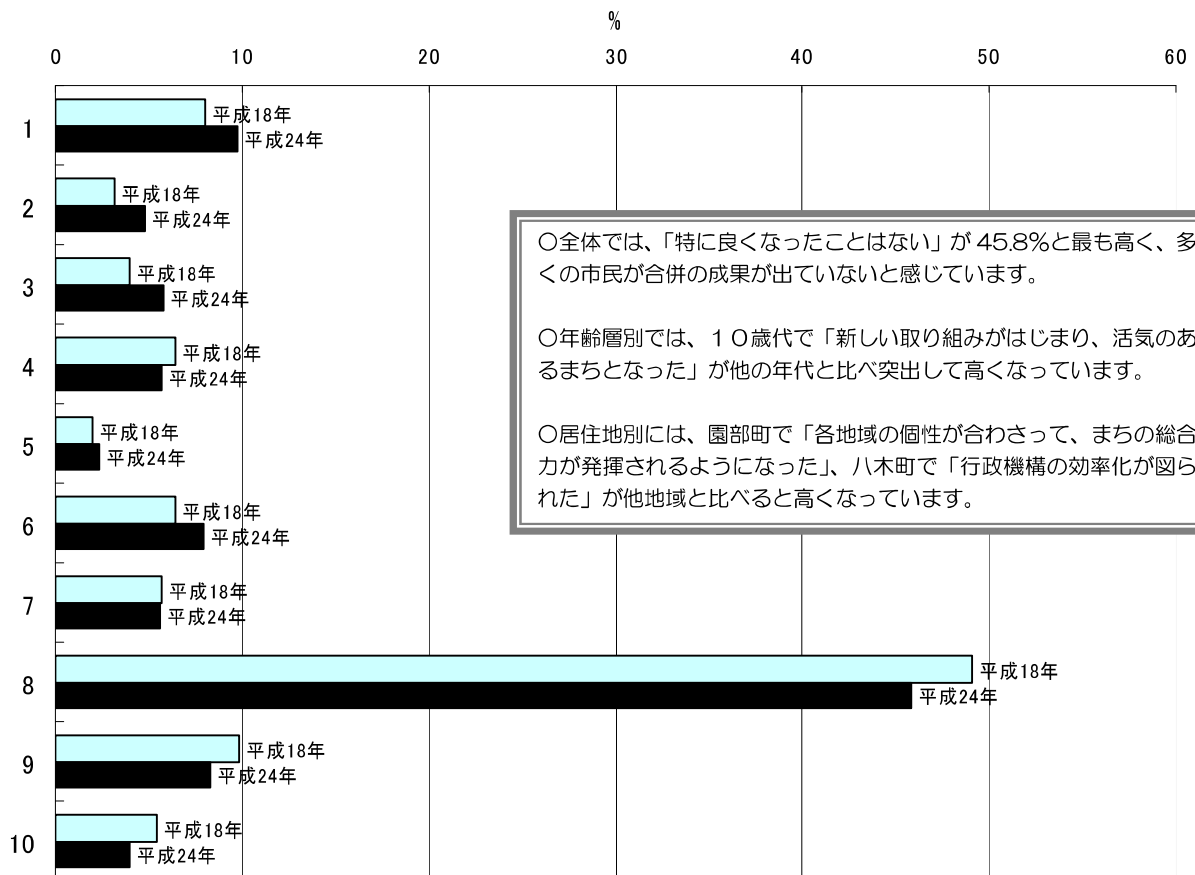


# アンケート調査結果

4

合併から6年が経過しましたが、合併によって良くなったと思えることは何ですか。《2つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されるようになった	149	8.0	134	9.8
2 環境や福祉、土地利用などの取り組みを広く行い、効果的になった	58	3.1	66	4.8
3 保健福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置された	74	4.0	79	5.8
4 予算を一つに集約し財政基盤が強化された	119	6.4	78	5.7
5 専門的な職員が増えて、より高度な行政サービスとなった	36	1.9	32	2.3
6 行政機構の効率化が図られた	119	6.4	109	8.0
7 新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなった	105	5.7	76	5.6
8 特に良くなったことはない	908	49.1	627	45.8
9 その他	182	9.8	114	8.3
10 無回答	101	5.5	54	3.9
合計	1,851	100.0	1,369	100.0

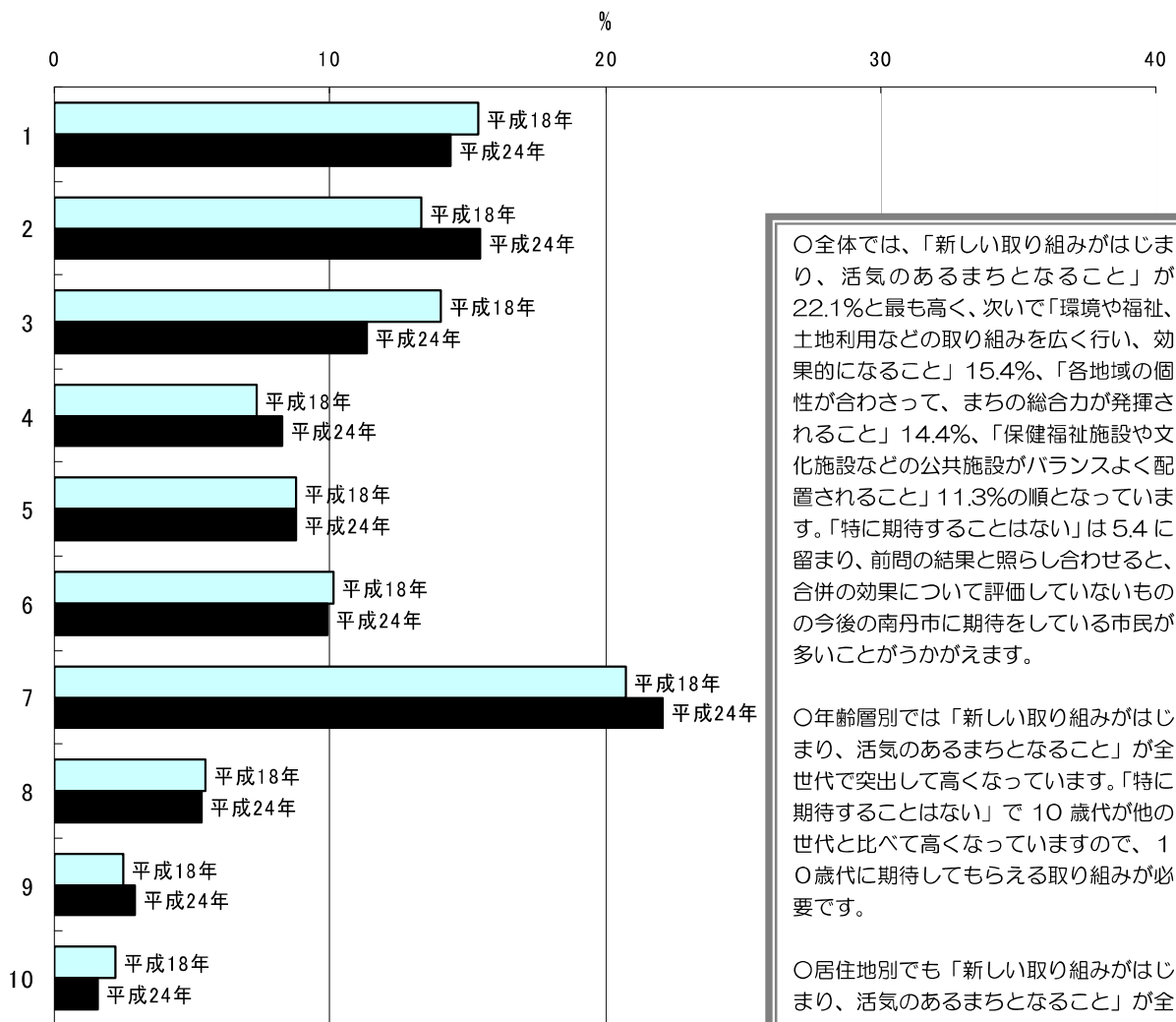


# アンケート調査結果

## 5

合併から6年が経過しましたが、今後期待することは何ですか。《2つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されること	378	15.4	258	14.4
2 環境や福祉、土地利用などの取り組みを広く行い、効果的になること	328	13.4	277	15.4
3 保健福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置されること	344	14.0	203	11.3
4 予算を一つに集約し財政基盤が強化されること	181	7.4	149	8.3
5 専門的な職員が増えて、より高度な行政サービスとなること	215	8.8	157	8.8
6 行政機構の効率化が図られること	248	10.1	178	9.9
7 新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなること	510	20.8	396	22.1
8 特に期待することはない	134	5.5	96	5.4
9 その他	61	2.5	52	2.9
10 無回答	55	2.2	28	1.6
合計	2,454	100.0	1,794	100.0



○全体では、「新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなること」が22.1%と最も高く、次いで「環境や福祉、土地利用などの取り組みを広く行い、効果的になること」15.4%、「各地域の個性が合わさって、まちの総合力が発揮されること」14.4%、「保健福祉施設や文化施設などの公共施設がバランスよく配置されること」11.3%の順となっています。「特に期待することはない」は5.4に留まり、前問の結果と照らし合わせると、合併の効果について評価していないものの今後の南丹市に期待をしている市民が多いことがうかがえます。

○年齢層別では「新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなること」が全世代で突出して高くなっています。「特に期待することはない」で10歳代が他の世代と比べて高くなっていますので、10歳代に期待してもらえる取り組みが必要です。

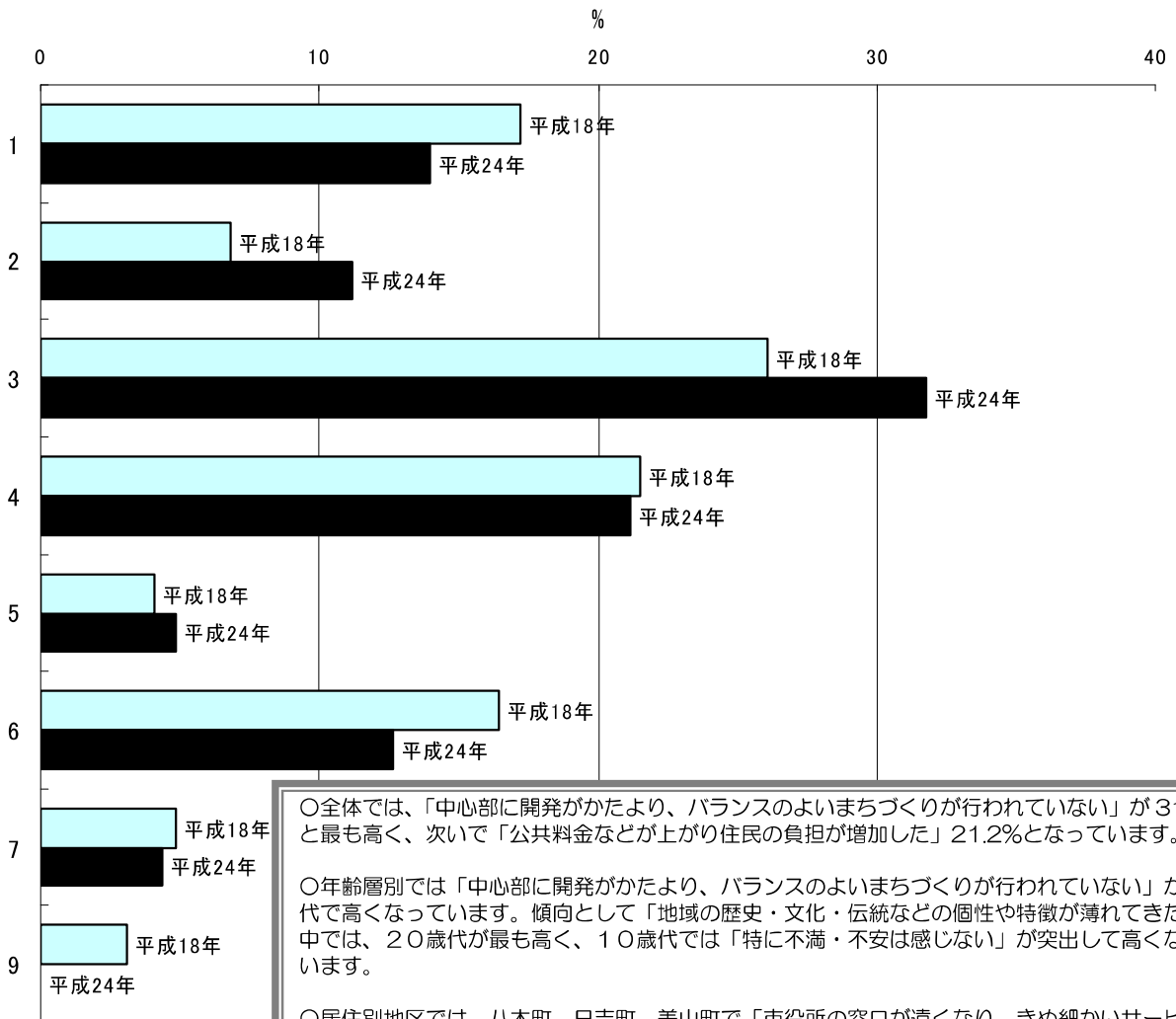
○居住地別でも「新しい取り組みがはじまり、活気のあるまちとなること」が全地域で高くなっています。

## II アンケート調査結果

6

合併から6年が経過しましたが、合併してからの不満や不安に思うことは何ですか。《2つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 市役所の窓口が遠くなり、きめ細かいサービスを受けられなくなった	374	17.2	226	14.0
2 地域の歴史・文化・伝統などの個性や特徴が薄れてきた	148	6.8	181	11.2
3 中心部に開発がかたより、バランスのよいまちづくりが行われていない	567	26.1	514	31.8
4 公共料金などが上がり住民の負担が増加した	467	21.5	342	21.2
5 旧町間の住民感情にわだかまりが生じている	88	4.0	78	4.8
6 特に不満・不安は感じない	358	16.5	205	12.7
7 その他	105	4.8	71	4.4
9 無回答	67	3.1	0	0.0
合計	2,174	100.0	1,617	100.0

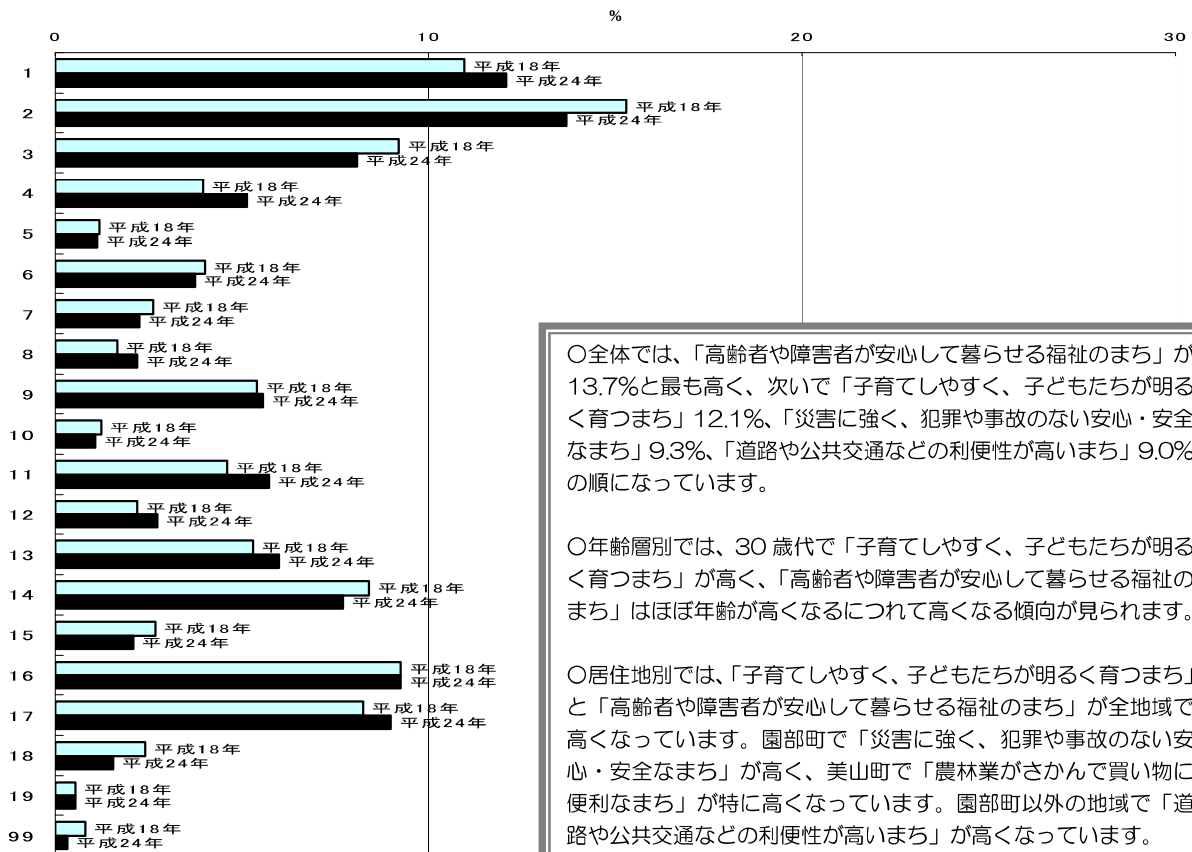




## 7

あなたは、将来の南丹市をどのようなまちにしたいですか。《4つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年		
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	
1	子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち	559	11.0	458	12.1
2	高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち	781	15.3	520	13.7
3	保健医療が充実した健康づくりがさかんなまち	468	9.2	307	8.1
4	みんなで支え合う地域コミュニティの活発なまち	203	4.0	194	5.1
5	家庭や職場などで、男女が共に参画するまち	61	1.2	43	1.1
6	人権を守り、さまざまな人にやさしいまち	205	4.0	142	3.7
7	生涯学習、文化活動やスポーツのさかんなまち	133	2.6	86	2.3
8	歴史文化を大切にするまち	85	1.7	84	2.2
9	農林業がさかんで、山や田畑の美しいまち	275	5.4	212	5.6
10	工業がさかんで活気のあるまち	64	1.3	41	1.1
11	商業・サービス業がさかんで買い物に便利なまち	235	4.6	218	5.7
12	大勢の来訪者が訪れる観光のまち	112	2.2	104	2.7
13	産業がさかんで働く場所が多いまち	271	5.3	228	6.0
14	自然が豊かで、うるおいのある生活環境のまち	428	8.4	293	7.7
15	ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組むまち	137	2.7	79	2.1
16	災害に強く、犯罪や事故のない安心・安全なまち	471	9.2	352	9.3
17	道路や公共交通などの利便性が高いまち	419	8.2	340	9.0
18	情報基盤が整備されたまち	123	2.4	59	1.6
19	その他	28	0.5	21	0.6
99	無回答	42	0.8	13	0.3
合計		5,100	100.0	3,794	100.0

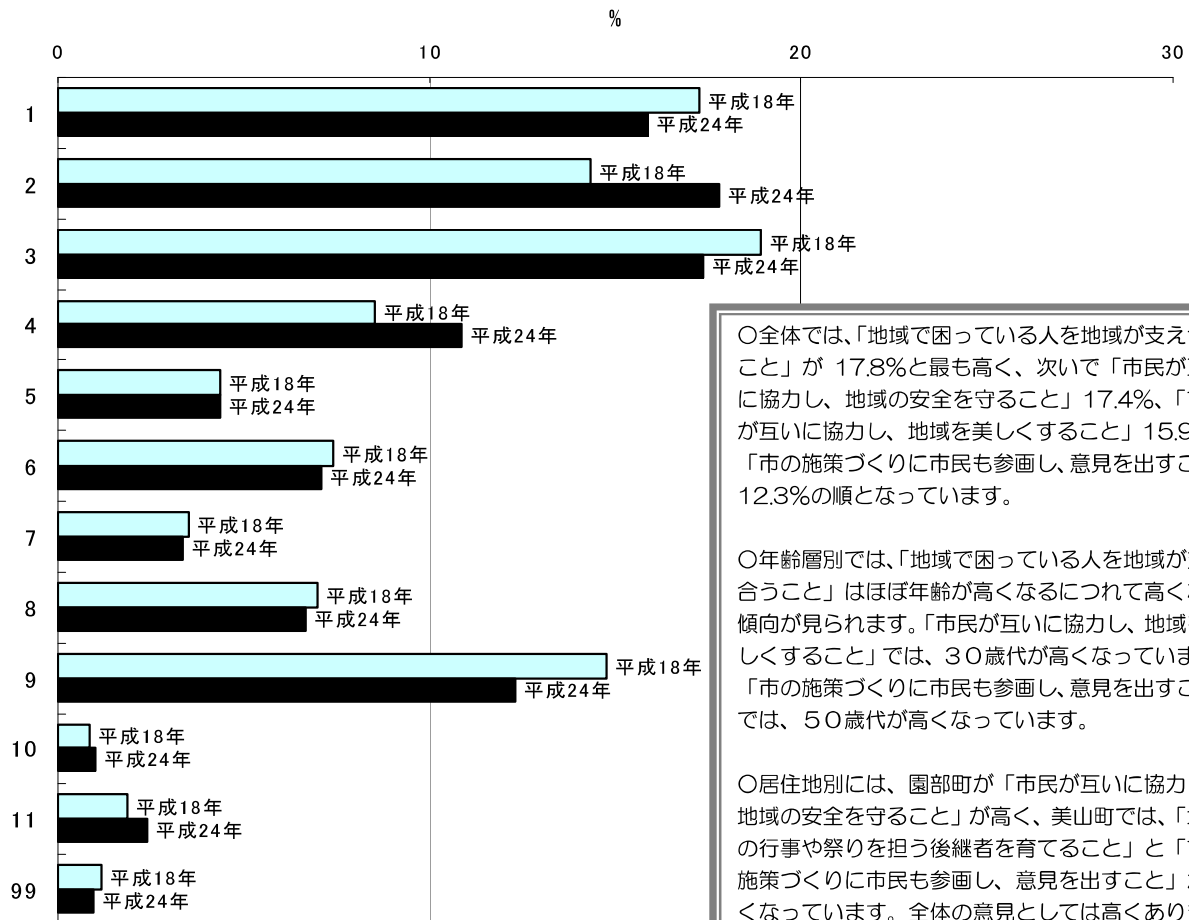


## アンケート調査結果

8

南丹市をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。《3つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 市民が互いに協力し、地域を美しくすること	623	17.3	405	15.9
2 地域で困っている人を地域が支え合うこと	516	14.3	455	17.8
3 市民が互いに協力し、地域の安全を守ること	682	18.9	444	17.4
4 地域の行事や祭りを担う後継者を育てること	308	8.5	278	10.9
5 地域の公園や公共施設の管理などを地域で行うこと	157	4.4	111	4.3
6 福祉や環境保全などのボランティア活動に参加すること	267	7.4	181	7.1
7 NPOなどの市民主体の団体・組織をつくること	127	3.5	86	3.4
8 知識や技術のある市民が指導にあたるなど生涯学習に参画すること	252	7.0	170	6.7
9 市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと	532	14.8	314	12.3
10 その他	30	0.8	26	1.0
11 特にない	68	1.9	61	2.4
99 無回答	43	1.2	24	0.9
合計	3,605	100.0	2,555	100.0



○全体では、「地域で困っている人を地域が支え合うこと」が17.8%と最も高く、次いで「市民が互いに協力し、地域の安全を守ること」17.4%、「市民が互いに協力し、地域を美しくすること」15.9%、「市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと」12.3%の順となっています。

○年齢層別では、「地域で困っている人を地域が支え合うこと」はほぼ年齢が高くなるにつれて高くなる傾向が見られます。「市民が互いに協力し、地域を美しくすること」では、30歳代が高くなっています。「市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと」では、50歳代が高くなっています。

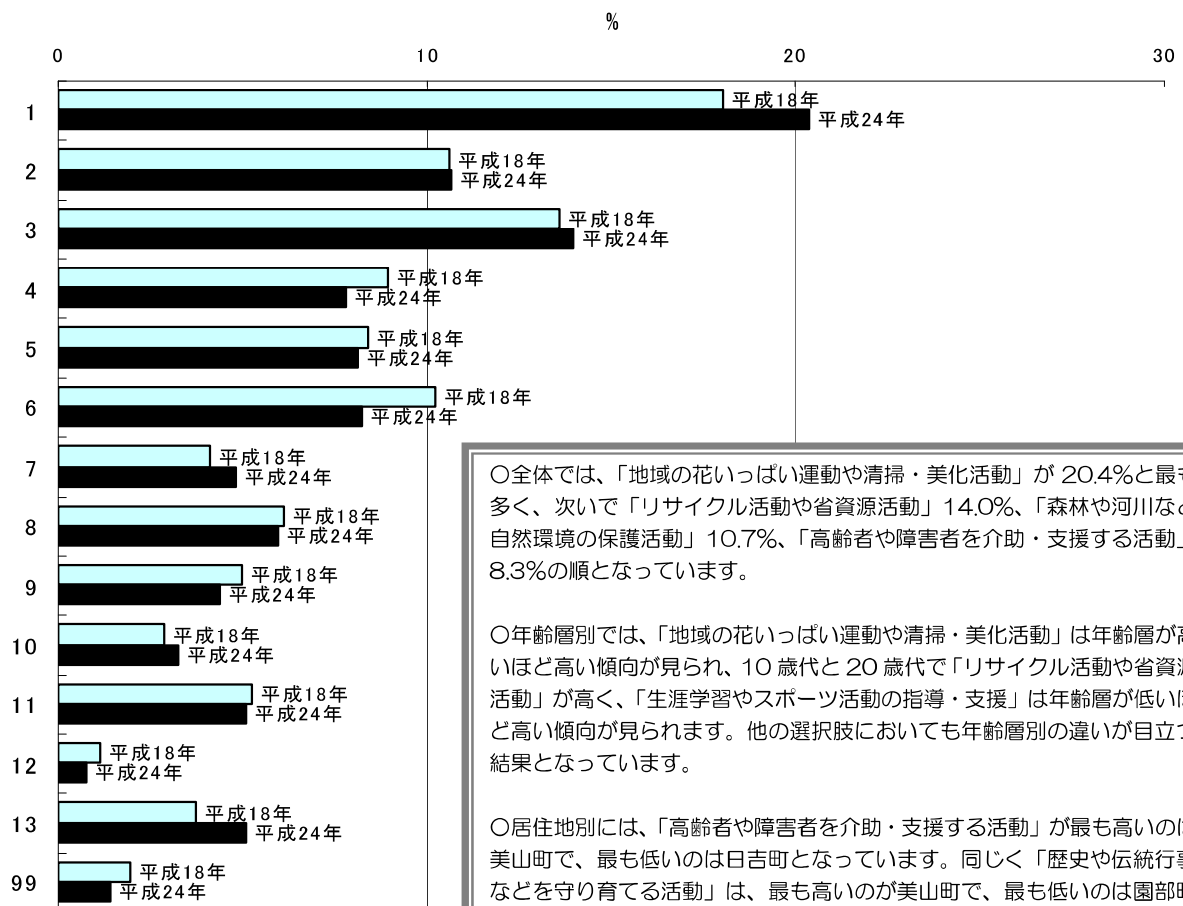
○居住地別には、園部町が「市民が互いに協力し、地域の安全を守ること」が高く、美山町では、「地域の行事や祭りを担う後継者を育てること」と「市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと」が高くなっています。全体の意見としては高くありませんが、日吉町では「知識や技術のある市民が指導にあたるなど生涯学習に参画すること」が高くなっています。

# アンケート調査結果

9

『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができますか。  
《3つ選択》

選択肢	平成18年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1 地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動	605	18.0	479	20.4
2 森林や河川など自然環境の保護活動	357	10.6	251	10.7
3 リサイクル活動や省資源活動	457	13.6	329	14.0
4 地域の交通安全や防災・防犯活動	300	8.9	183	7.8
5 食や運動に関する健康づくり活動	282	8.4	191	8.1
6 高齢者や障がい者を介助・支援する活動	343	10.2	194	8.3
7 育児ボランティアなど、子育て支援活動	139	4.1	113	4.8
8 子どもや青少年の健全育成活動	206	6.1	140	6.0
9 生涯学習やスポーツ活動の指導・支援	167	5.0	103	4.4
10 文化・芸術活動の指導・支援	96	2.9	77	3.3
11 歴史や伝統行事などを守り育てる活動	176	5.2	120	5.1
12 その他	39	1.2	18	0.8
13 特にない	125	3.7	120	5.1
99 無回答	66	2.0	33	1.4
合計	3,358	100.0	2,351	100.0



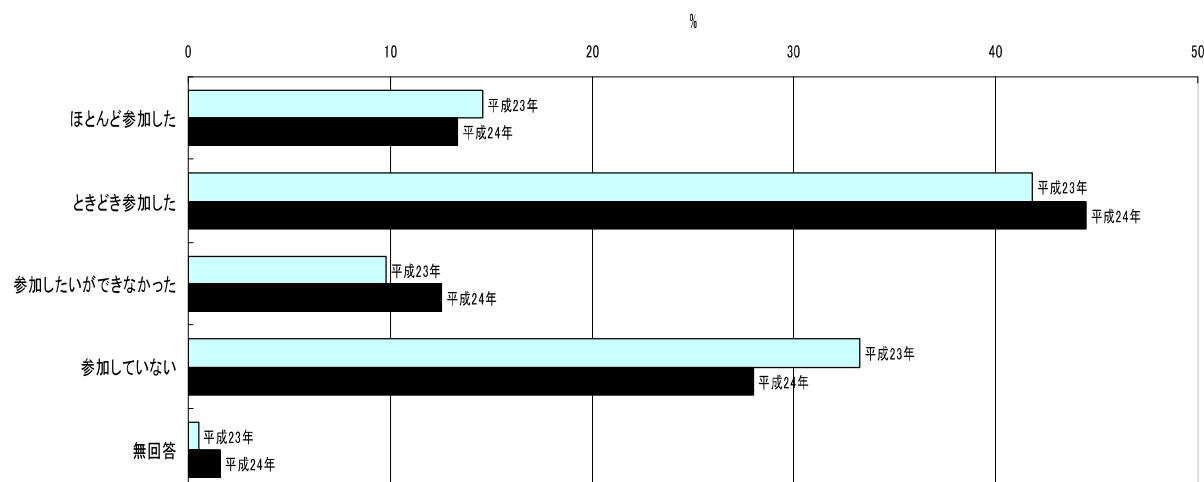
## 川アンケート調査結果（市民意識調査）

### 3 まちづくりアンケート調査結果比較（市民意識調査）

10

あなたは、過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ほとんど参加した	82	14.6	133	13.4
ときどき参加した	235	41.8	443	44.5
参加したいができなかった	55	9.8	125	12.6
参加していない	187	33.3	279	28.0
無回答	3	0.5	16	1.6
合計	562	100.0	996	100.0



#### **市民の2人に1人が地域活動、自主活動に参加！**

「過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか」という問いに対して、「ほとんど参加した」「ときどき参加した」と答えた方は58.8%と、市民の約2人に1人は何らかの地域活動や市民による自主的活動に参加されていることが伺えます。

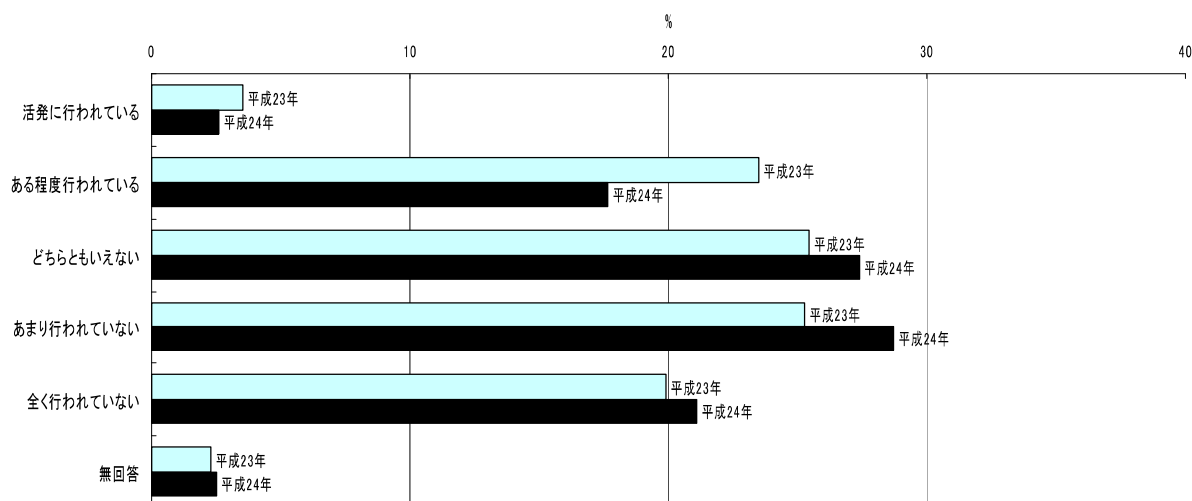
また、「参加したいができなかった」の方も含めると、全体の71.6%の方が何らかの地域活動等には参加したいと思っっていることが伺えます。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

11

自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
活発に行われている	20	3.6	26	2.6
ある程度行われている	132	23.5	176	17.7
どちらともいえない	143	25.4	273	27.4
あまり行われていない	142	25.3	286	28.7
全く行われていない	112	19.9	210	21.1
無回答	13	2.3	25	2.5
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の約半数が、大学との交流連携は

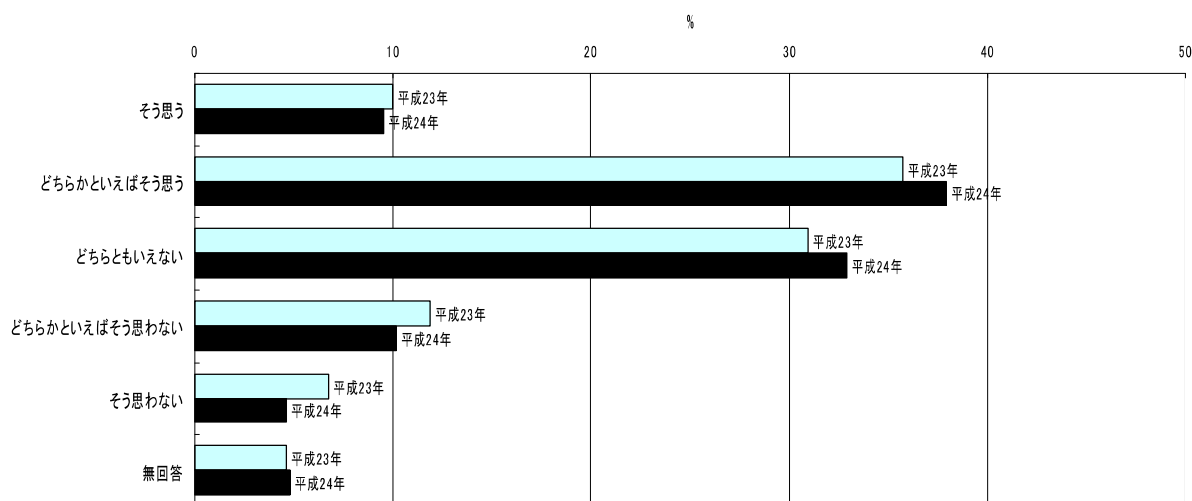
### 活発に行われていないと感じている！

「自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われているか」という問いに対し、「あまり行われていない」または「全く行われていない」と回答され、昨年度の調査の結果を5.7%ポイント上回り、全体の50.9%となりました。

## 12

南丹市が安心して子育てのできるまちだと思いますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	56	10.0	95	9.5
どちらかといえばそう思う	201	35.8	378	38.0
どちらともいえない	174	31.0	328	32.9
どちらかといえばそう思わない	67	11.9	101	10.1
そう思わない	38	6.8	46	4.6
無回答	26	4.6	48	4.8
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の4割以上が「安心して子育てができるまち」と回答！

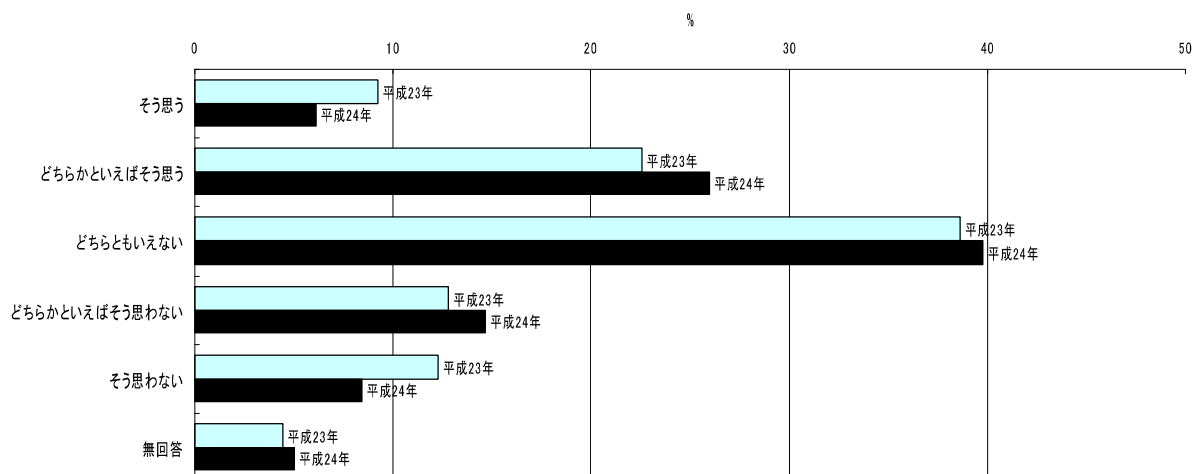
「南丹市が、安心して子育てのできるまちか」という問いに対して、47.5%の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えており、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の14.7%と大きな差がありました。

しかし、どちらかといえばそう思うと答えた方が昨年度調査から2.2ポイントの増に対し、どちらともいえないと答えた方も1.9ポイント増となり、子育て世代の不安や、少子化の影響が伺えます。

13

自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	52	9.3	61	6.1
どちらかといえばそう思う	127	22.6	259	26.0
どちらともいえない	217	38.6	396	39.8
どちらかといえばそう思わない	72	12.8	146	14.7
そう思わない	69	12.3	84	8.4
無回答	25	4.4	50	5.0
合計	562	100.0	996	100.0



## 子育て支援の施策が市民に伝わっていない？

「自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていますか」という問いでは、「そう思う」と答えた方が 3.2 ポイント減少し、「どちらかといえばそう思う」と答えた方の割合が 3.4 ポイント増加し、昨年度調査からは 0.2 ポイントの微増になりました。

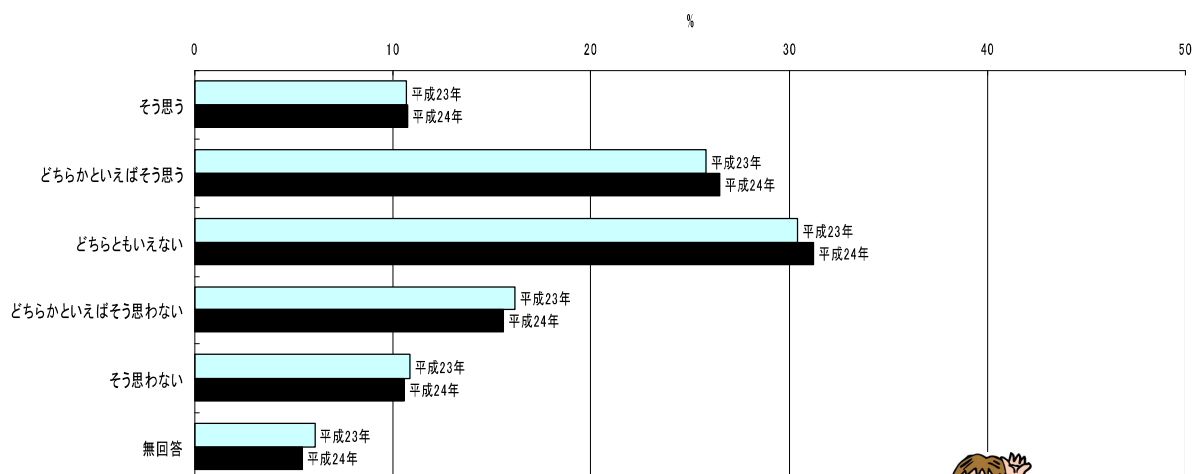
また、「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた方の割合は、全体の 54.5%と 3.1 ポイントも増加し、取り組みが市民の方に十分伝わっていないのではないか、実感していただけていないのではないかと考えられます。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

14

子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	60	10.7	107	10.7
どちらかといえばそう思う	145	25.8	264	26.5
どちらともいえない	171	30.4	311	31.2
どちらかといえばそう思わない	91	16.2	155	15.6
そう思わない	61	10.9	105	10.5
無回答	34	6.0	54	5.4
合計	562	100.0	996	100.0



### ほぼ昨年度と変わらない？

「子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な環境で学んでいるか」という問いに対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方の割合が昨年度調査に比べ0.7ポイント増の37.2%、それに対し「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方の割合は1ポイント減の26.0%となりました。

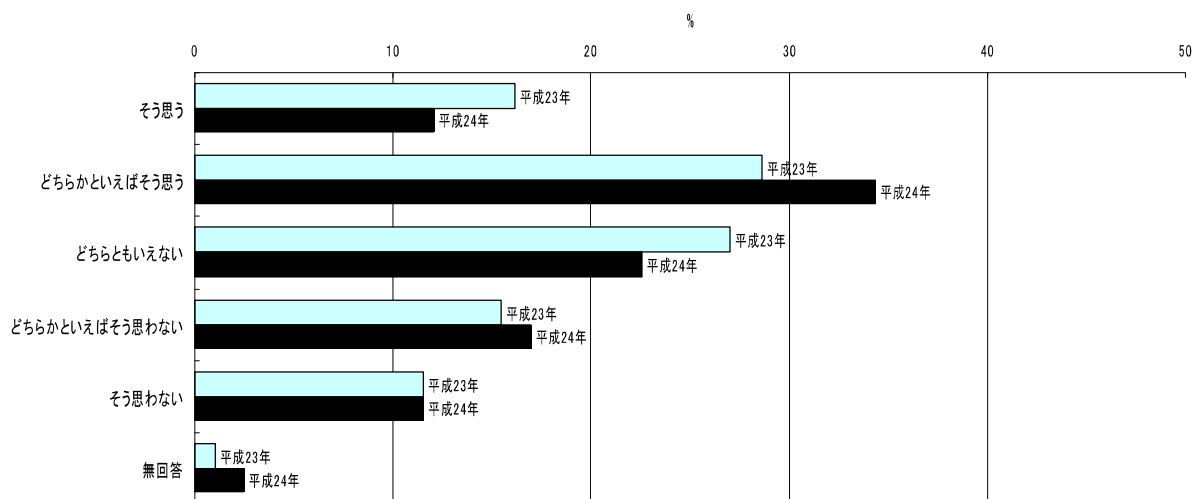


## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

15

南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	91	16.2	120	12.0
どちらかといえばそう思う	161	28.6	342	34.3
どちらともいえない	152	27.0	225	22.6
どちらかといえばそう思わない	87	15.5	169	17.0
そう思わない	65	11.6	115	11.5
無回答	6	1.1	25	2.5
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の4割以上が「そう思う」と回答！

「南丹市において、安心して医療を受けられる体制が整っているか」という問いに対して、46.3%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えています。

また、昨年度の意識調査では、「そう思う」（「どちらかといえばそう思う」を含む）と答えた人は44.8%あり、1.5ポイント増加したことになります。

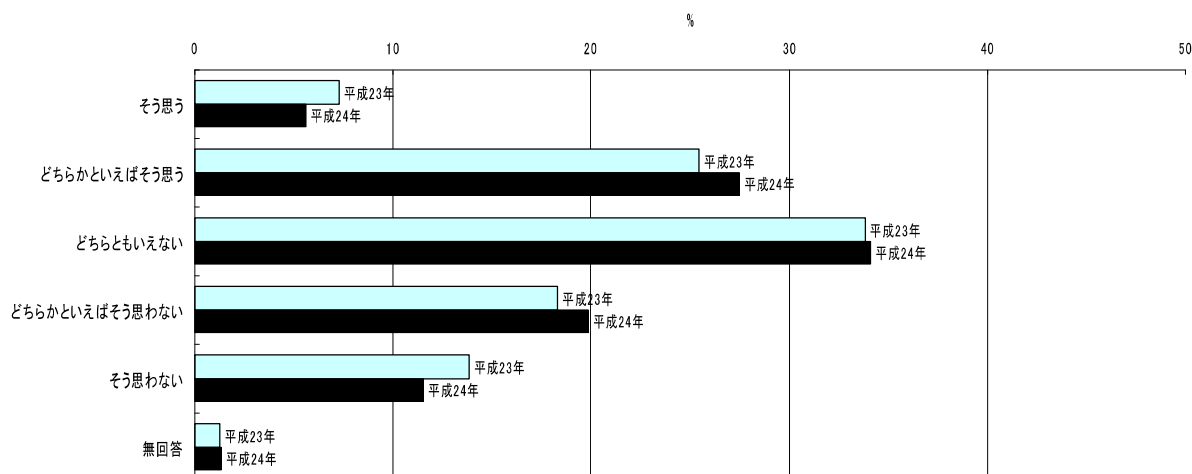
しかしながら、「思わない」と感じている方が昨年調査より1.4ポイント増加しており、市民の約3割の方が不安を感じています。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

16

南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	41	7.3	56	5.6
どちらかといえばそう思う	143	25.4	274	27.5
どちらともいえない	190	33.8	340	34.1
どちらかといえばそう思わない	103	18.3	198	19.9
そう思わない	78	13.9	115	11.5
無回答	7	1.2	13	1.3
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の約3割が「そう思わない」と回答！

「南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方は33.1%なのに対し、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方も31.4%とあまり大きな差はなく、意見が分かれているところです。

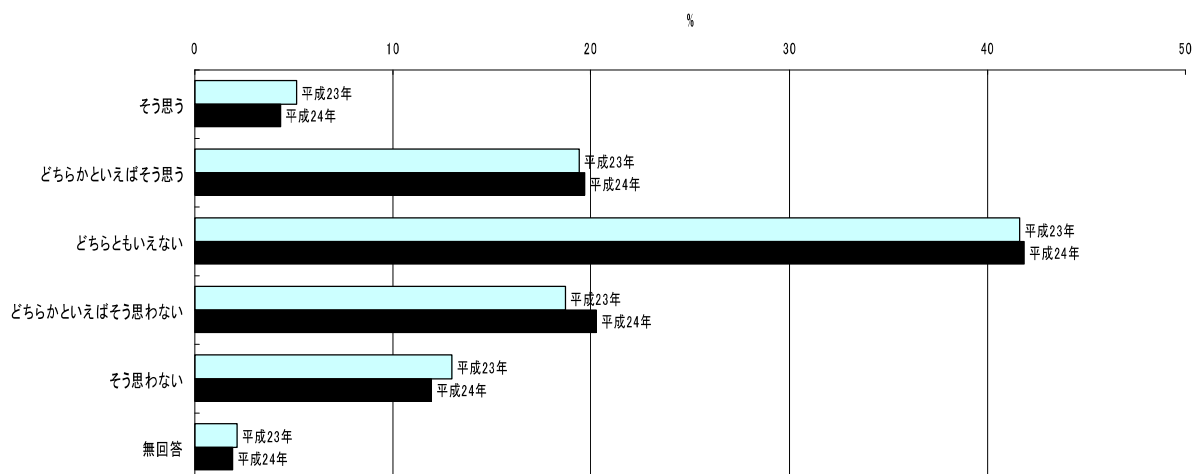
「そう思う」と回答された方は1.7ポイント減少したのに対し、「どちらかといえばそう思わない」と回答された方の割合は1.6ポイント増加しています。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

17

南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われ  
ますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	29	5.2	43	4.3
どちらかといえばそう思う	109	19.4	196	19.7
どちらともいえない	234	41.6	417	41.9
どちらかといえばそう思わない	105	18.7	202	20.3
そう思わない	73	13.0	119	11.9
無回答	12	2.1	19	1.9
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の約3割が「安心して暮らせるとは思わない」と回答！

「南丹市が障害のある方にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方が24.0%なのに対し、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は32.2%と、10ポイント近く多い状態となっています。

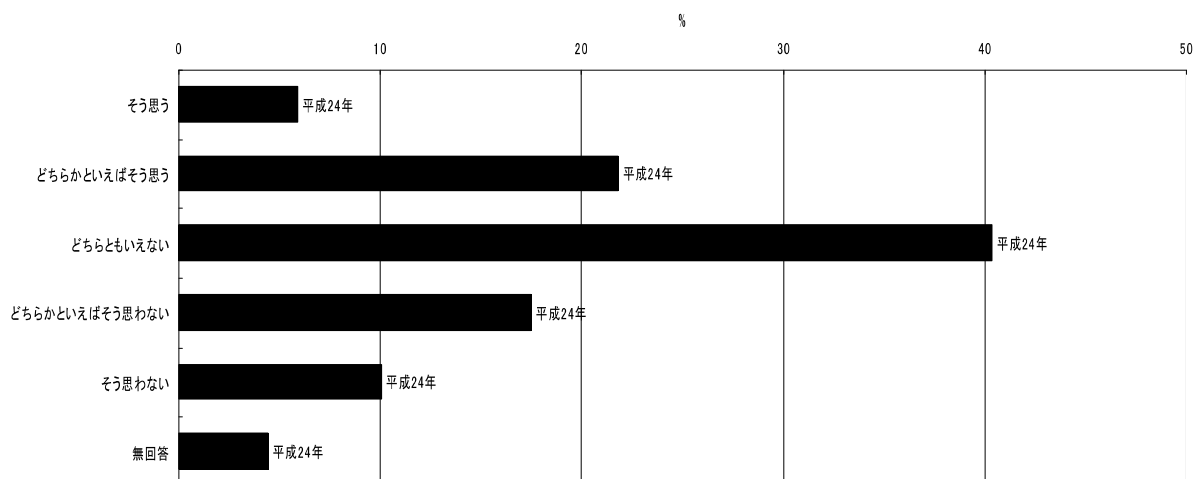
ただし、40%以上の方が、どちらともいえないと答えられていることから、市民に対して市の取り組みがアピールできていない事が伺え、今後、どのように伝えていくのが重要ではないかと考えられます。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

18

南丹市が妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	-	-	59	5.9
どちらかといえばそう思う	-	-	217	21.8
どちらともいえない	-	-	402	40.4
どちらかといえばそう思わない	-	-	174	17.5
そう思わない	-	-	100	10.0
無回答	-	-	44	4.4
合計	-	-	996	100.0



### 市民の約4割が「どちらともいえない」と回答！

「南丹市が妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方が27.7%なのに対し、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は27.5%と、両者ともほぼ同じくらいの状態となっています。

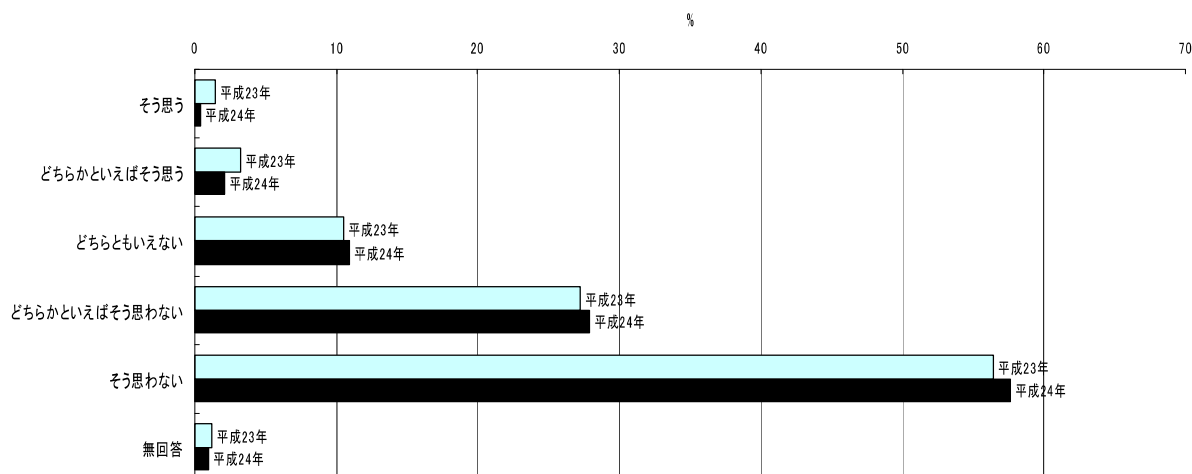
ただし、40%以上の方が、どちらともいえないと答えられていることから、市民に対して市の取り組みがアピールできていない事が伺え、今後、どのように伝えていくのが重要ではないかと考えられます。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

19

南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思われませんか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	8	1.4	4	0.4
どちらかといえばそう思う	18	3.2	21	2.1
どちらともいえない	59	10.5	109	10.9
どちらかといえばそう思わない	153	27.2	278	27.9
そう思わない	317	56.4	574	57.6
無回答	7	1.2	10	1.0
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の85%の人が「にぎわっていると思わない」と回答！

「南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思うか」という問いでは、57.6%の方が「そう思わない」と回答されており、「どちらかといえばそう思わない」を含めると85.5%になりました。昨年度調査に比べ「そう思わない」という回答が1.2ポイント増、「どちらかといえばそう思わない」で0.7ポイント増となりました。

85%以上の大多数の方が、商店街はにぎわっているとは思えないと感じています。

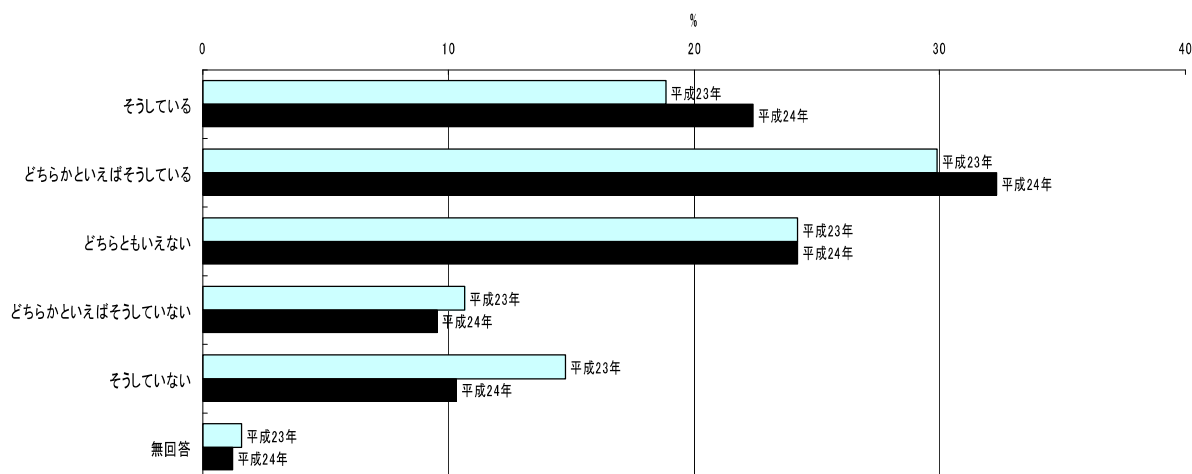
逆に「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた人は、わずかに2.5%にとどまっているという状況です。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

20

南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そうしている	106	18.9	223	22.4
どちらかといえばそうしている	168	29.9	322	32.3
どちらともいえない	136	24.2	241	24.2
どちらかといえばそうしていない	60	10.7	95	9.5
そうしていない	83	14.8	103	10.3
無回答	9	1.6	12	1.2
合計	562	100.0	996	100.0



### 意識して購入されている方は多い！

「南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか」という問いに対し、22.4%の方が「そうしている」と回答されており、「どちらかといえばそうしている」も含めると54.7%となり、割合からすると、市民の二人に1人が「地産地消」を意識して地元産を購入されていることとなります。

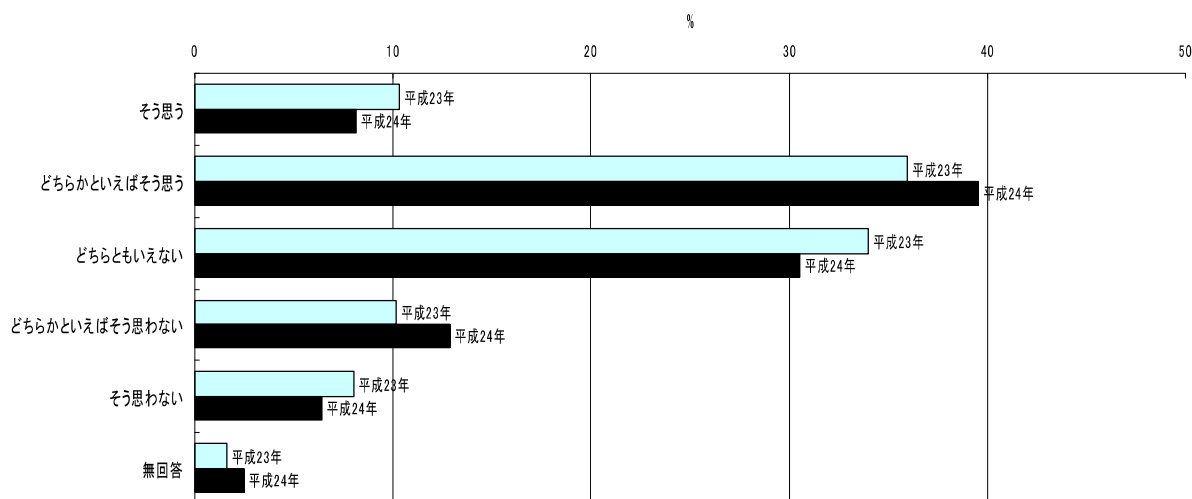
昨年度調査に比べ「そうしている」という方の割合は3.5ポイント増加し、「どちらかといえばそうしている」という方の割合も2.4ポイント増加しています。

## ■ ■ アンケート調査結果（市民意識調査）

21

南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	58	10.3	81	8.1
どちらかといえばそう思う	202	35.9	394	39.6
どちらともいえない	191	34.0	304	30.5
どちらかといえばそう思わない	57	10.1	128	12.9
そう思わない	45	8.0	64	6.4
無回答	9	1.6	25	2.5
合計	562	100.0	996	100.0



### 南丹市の自然は守られている！

「南丹市において、自然環境が適切に守られているか」という問いでは、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は47.7%で、昨年度調査に比べ1.5ポイント増加しています。

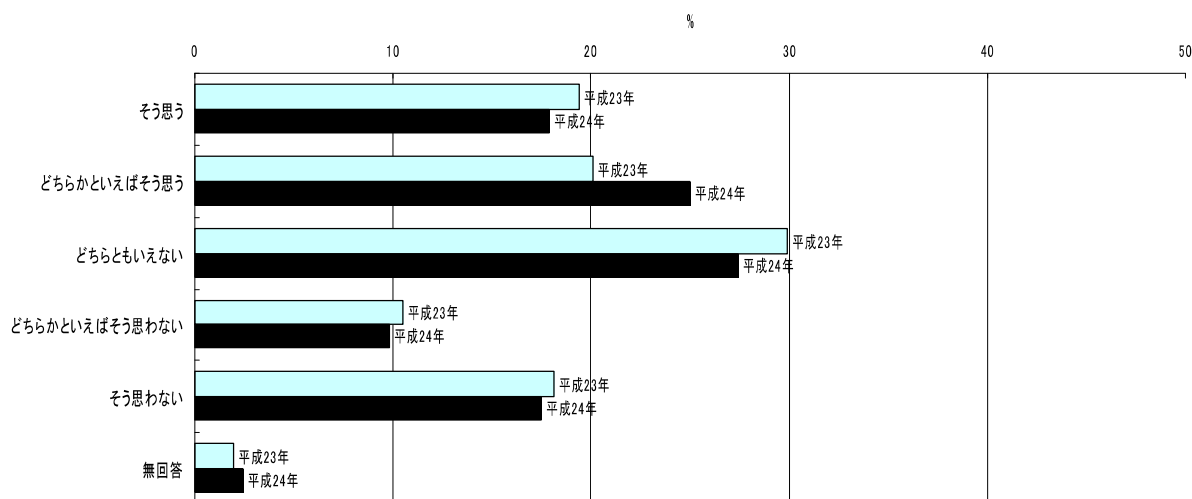
一方「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した方は19.3%で昨年度調査に比べ1.2ポイント減少し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した方が大きく上回っています。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

22

南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思いますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	109	19.4	178	17.9
どちらかといえばそう思う	113	20.1	249	25.0
どちらともいえない	168	29.9	273	27.4
どちらかといえばそう思わない	59	10.5	98	9.8
そう思わない	102	18.1	174	17.5
無回答	11	2.0	24	2.4
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の42%が「規制が必要」と回答！

昨年度から加えた調査項目ですが、「南丹市の美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきか」との問いには、42.9%の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の27.3%を上回りました。

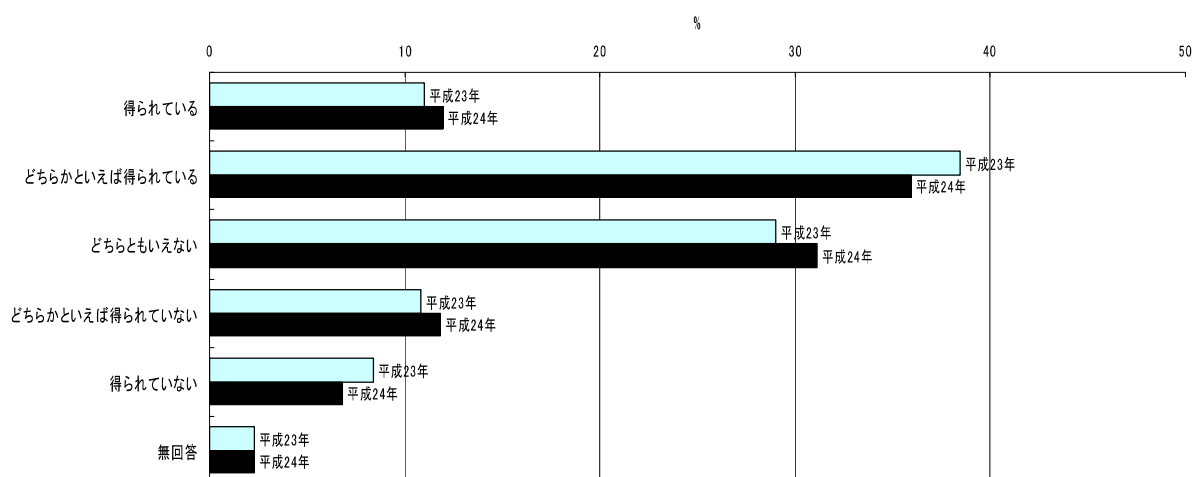


## III アンケート調査結果（市民意識調査）

23

南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
得られている	62	11.0	119	11.9
どちらかといえば得られている	216	38.4	358	35.9
どちらともいえない	163	29.0	310	31.1
どちらかといえば得られていない	61	10.9	118	11.8
得られていない	47	8.4	68	6.8
無回答	13	2.3	23	2.3
合計	562	100.0	996	100.0



### 情報を得られている割合が1.6% ↓ダウン！

「市政について情報が的確に得られているか」という問いに対して、11.9%の方が「得られている」と回答されており、「どちらかといえば得られている」という回答を含めると47.8%になります。しかしながら、昨年度調査の49.4%より1.6%の減少となりました。

一方、「得られていない」「どちらかといえば得られていない」と回答された方も、18.6%で昨年度調査より0.7ポイント減少しています。

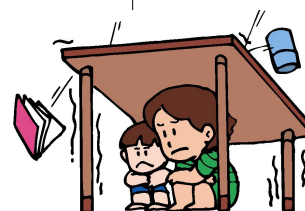
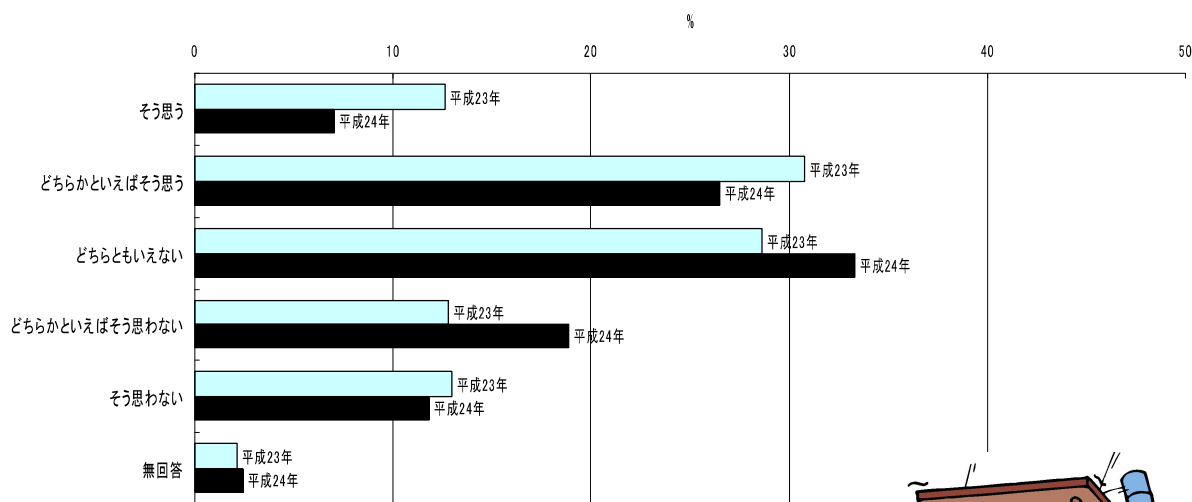
結果「どちらともいえない」方が増加し、今まで以上に市民が必要としている地域に密着したタイムリーな市政情報の発信が期待されています。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

24

災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われませんか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	71	12.6	70	7.0
どちらかといえばそう思う	173	30.8	264	26.5
どちらともいえない	161	28.6	332	33.3
どちらかといえばそう思わない	72	12.8	188	18.9
そう思わない	73	13.0	118	11.8
無回答	12	2.1	24	2.4
合計	562	100.0	996	100.0



### 整っているとする割合は、3割程度！

「災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されているか」という問いでは、32.6%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えています。

しかし、「どちらともいえない」とする意見が33.3%と最も多く、「そう思わない」（「どちらかといえばそう思わない」を含む）と答えた方も30.7%あります。

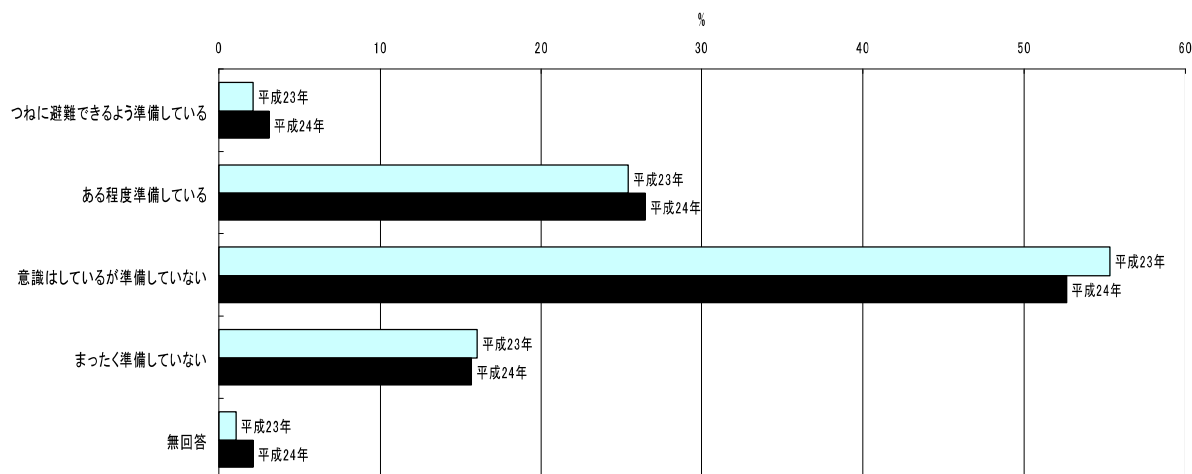
今後の災害や防災情報について、市民に分かりやすい内容で周知発信されるよう運用面での改善実施が必要です。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

25

台風や地震などの災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
つねに避難できるよう準備している	12	2.1	31	3.1
ある程度準備している	143	25.4	264	26.5
意識はしているが準備していない	311	55.3	524	52.6
まったく準備していない	90	16.0	156	15.7
無回答	6	1.1	21	2.1
合計	562	100.0	996	100.0



### 「意識はしているが準備していない」が大半！

「災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備はしているか」の問いに対して、「している」と答えた方はわずか3.1%、「ある程度している」と答えた方を含めても29.6%ですが、これを昨年度調査と比べてみますと、わずかながらですが2.1ポイント増加しています。

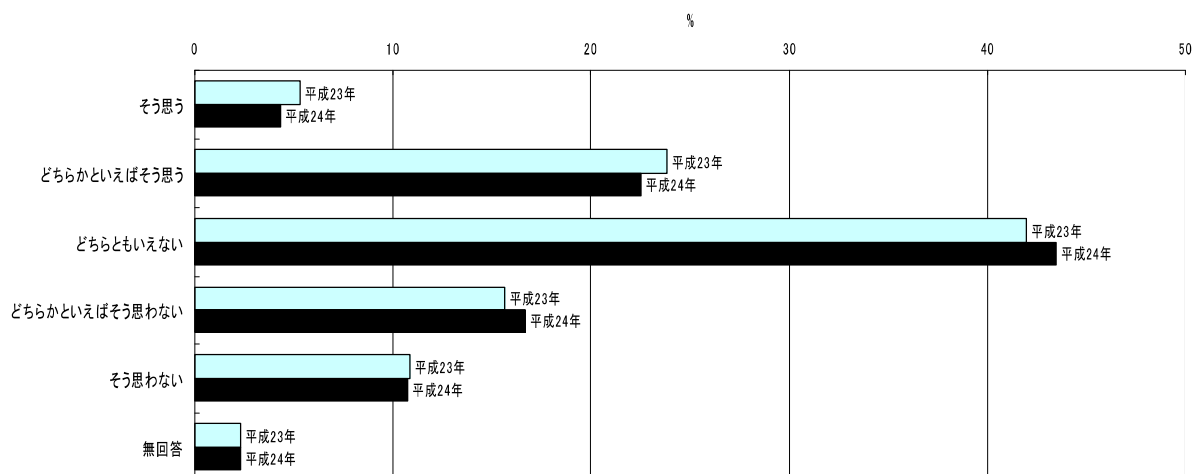
しかしながら、未だ市民の10人に対して約3人の方しか何らかの備えをされていないことになります。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

26

南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	30	5.3	43	4.3
どちらかといえばそう思う	134	23.8	224	22.5
どちらともいえない	236	42.0	433	43.5
どちらかといえばそう思わない	88	15.7	166	16.7
そう思わない	61	10.9	107	10.7
無回答	13	2.3	23	2.3
合計	562	100.0	996	100.0



### 「どちらともいえない」?!

「南丹市が防災の面で安心して暮らせるまちか」という問いでは、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は26.8%と、昨年度の調査に比べると2.3ポイント減となりました。

一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は27.4%と、昨年度の調査に比べ0.8ポイント増となりました。

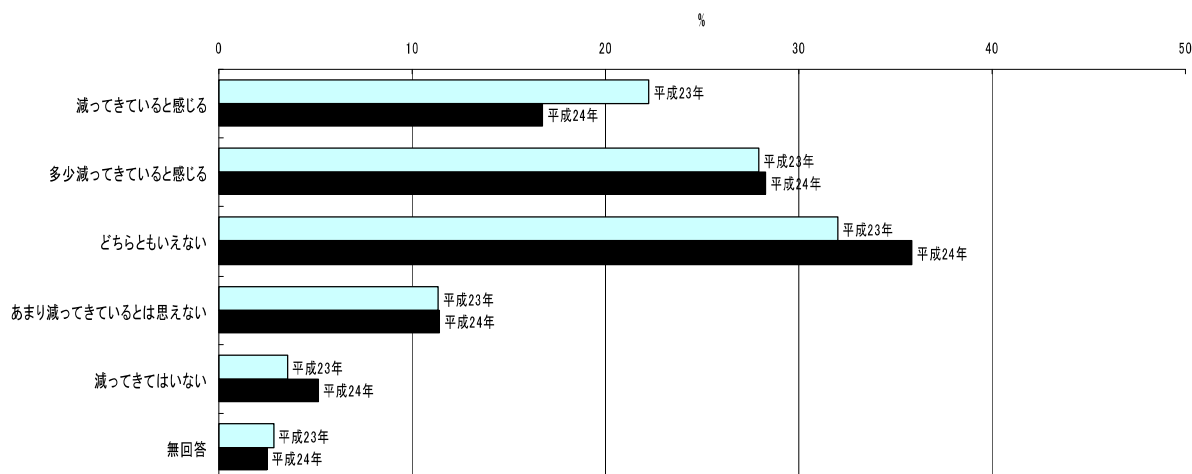
しかしながら、「どちらともいえない」と答えた方が、43.5%と最も多くなっています。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

27

まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
減ってきていると感じる	125	22.2	167	16.8
多少減ってきていると感じる	157	27.9	282	28.3
どちらともいえない	180	32.0	357	35.8
あまり減ってきているとは思えない	64	11.4	114	11.4
減ってきてはいない	20	3.6	51	5.1
無回答	16	2.8	25	2.5
合計	562	100.0	996	100.0



### 「どちらともいえない」?!

「まだまだ性別や国籍、身体障がいなどによる差別が残っていますが、南丹市において、近年これらの差別が減ってきていると感じるか」という問いでは、45.1%の方が「減ってきていると感じる」または「多少減ってきていると感じる」と回答しているのに対して、「減ってきてはいない」または「あまり減ってきているとは思えない」と回答された方は16.5%と少ないことから、差別が減ってきていると感じる方のほうが多いといえます。

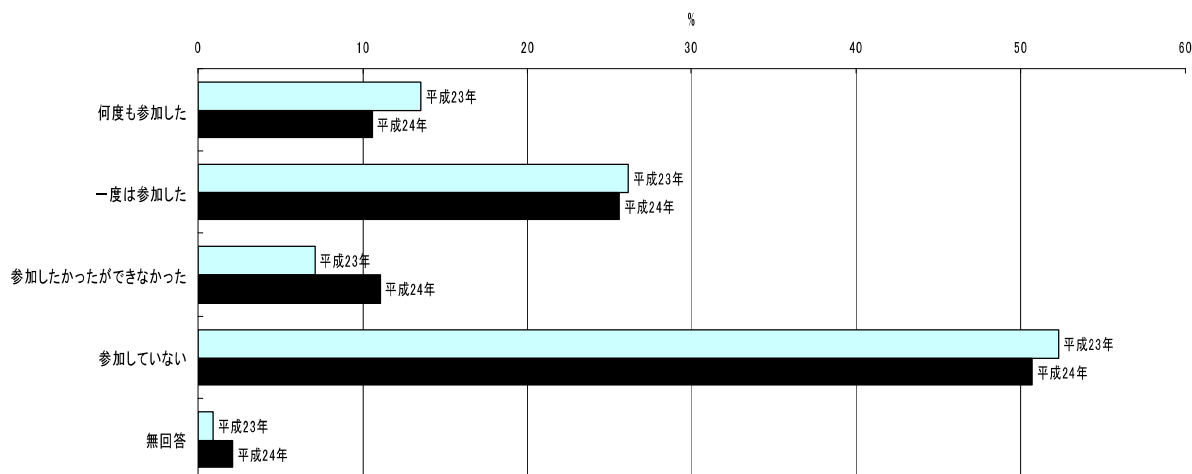
しかしながら、「どちらともいえない」と答えた方が、昨年度調査より3.8ポイント増加し、35.8%と最も多くなっています。

## III アンケート調査結果（市民意識調査）

28

過去1年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度も参加した	76	13.5	105	10.5
一度は参加した	147	26.2	255	25.6
参加したかったができなかった	40	7.1	110	11.0
参加していない	294	52.3	505	50.7
無回答	5	0.9	21	2.1
合計	562	100.0	996	100.0



### 市民の半数以上が、勉強会等に参加していない！

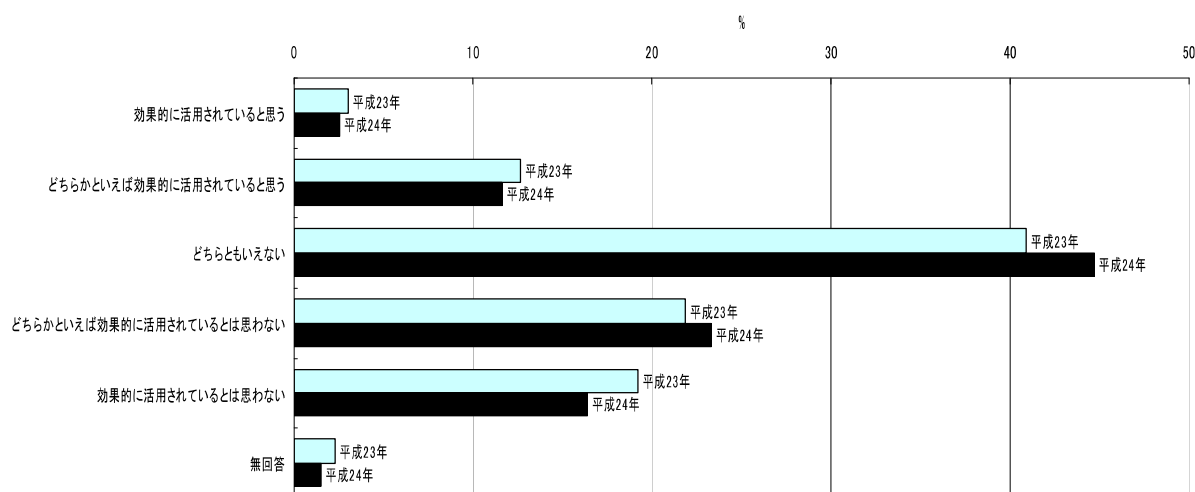
「過去1年間に、人権問題に関する勉強会等に参加したか」という問いに対して、36.1%の方が「何度も参加した」「一度は参加した」と回答しています。

しかし、52.8%の方が「参加していない」または「参加したかったができなかった」と回答しており、全体の半数以上が勉強会には参加していないこととなります。

29

市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われませんか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
効果的に活用されていると思う	17	3.0	25	2.5
どちらかといえば効果的に活用されていると思う	71	12.6	116	11.6
どちらともいえない	230	40.9	445	44.7
どちらかといえば効果的に活用されているとは思わない	123	21.9	232	23.3
効果的に活用されているとは思わない	108	19.2	163	16.4
無回答	13	2.3	15	1.5
合計	562	100.0	996	100.0



## 4 割の市民が効果的に活用されているとは思っていない！

「市民の税金がまちづくりに効果的に活用されているか」という問いでは、「効果的に活用されている」と答えた方は2.5%で、「どちらかといえば効果的に使われている」を含めても14.1%しかありませんでした。

反対に、「効果的に活用されていない」と答えた方は16.4%で、「どちらかといえば効果的に活用されていない」をあわせると39.7%と約3分の1にあたります。

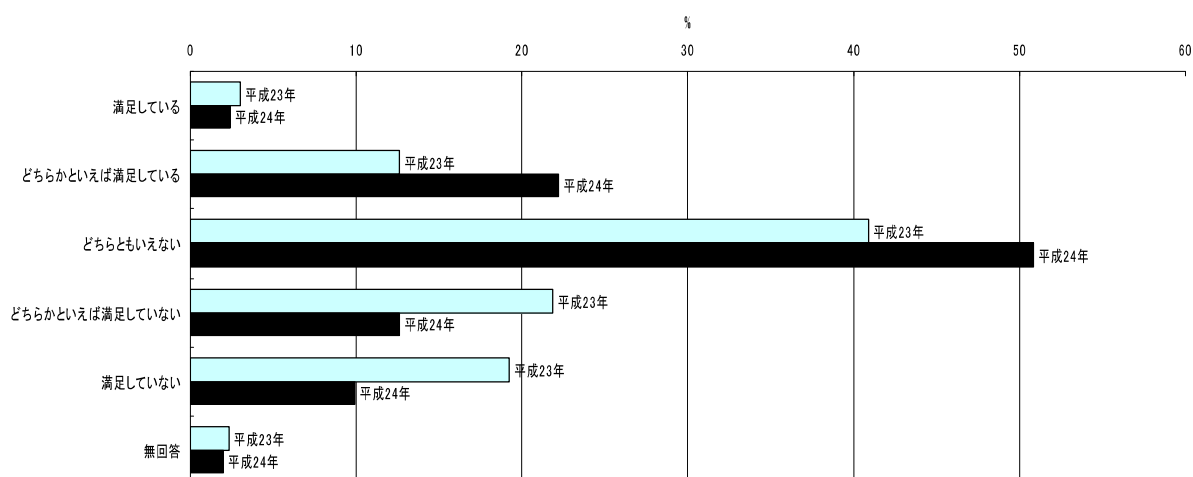
また、「どちらともいえない」とする回答が44.7%もあることも特徴的です。

## ■ ■ Ⅲ アンケート調査結果（市民意識調査）

30

総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しておられますか。

選 択 肢	平成23年		平成24年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
満足している	17	3.0	24	2.4
どちらかといえば満足している	71	12.6	221	22.2
どちらともいえない	230	40.9	506	50.8
どちらかといえば満足していない	123	21.9	126	12.7
満足していない	108	19.2	99	9.9
無回答	13	2.3	20	2.0
合計	562	100.0	996	100.0



### 「どちらともいえない」が大幅増加！

「総合的にみて、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか」という問いでは、24.6%の方が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えています。

また、「満足していない」または「どちらかといえば満足していない」と回答された方は22.6%となっており、「満足している」（「どちらかといえば満足している」を含む）よりも、若干回答者の割合は低いものの、大きな差はありません。

ただし、「どちらともいえない」と回答している方の割合が圧倒的に高く、全体の50.8%になっています。回答理由からこれは関心がないという意味で「どちらともいえない」が選ばれているのではなく、『実際自分がどのような行政サービスを受けているのか、抽象すぎて情報が少ないので判断できない』ということが伺えます。



## IVアンケート調査結果（市民の意見）

31

「1. 住みやすい」「2. どちらかという住みやすい」を選んだ方の意見

- 実家に近いから（住み慣れた環境）
- ずっと住み続けて生まれ育った地域であるから
- 車が混まない。子供の遊ぶ場所がある
- 車の通りが少ない団地なので子供が外で遊びやすい

32

「3. どちらかという住みにくい」「4. 住みにくい」を選んだ方の意見

- 余暇や娯楽を楽しむ場がないから
- ごみの分別が面倒
- 仕事が少ない
- 市財政改善の見通しが無い
- ごみの分別、ごみ無料
- ゴミの分別が複雑すぎ、再利用、有効利用していることとは考えられない
- 高齢化している
- 公共料金 上下水道が高い

33

合併によって良くなったと思える方の意見

- 4つの町の図書館が使えるようになった
- 町内の交流が増えた
- 他の町との交流が以前より図りやすくなった
- ケーブルテレビでいろいろ見れる
- 全市のバス運行等、気分として園部が近くなった
- CATVで市内の情報がわかる

## IVアンケート調査結果（市民の意見）

34

合併から6年が経過しましたが、今後期待することへの意見

- 総合ショッピングセンターの誘致
- 市の職員さんの対応が良くなるように、病院の対応もよくなるように
- 防災面の充実
- 市民の意見が反映される町
- バスを増やしてほしい、利便性の改善
- 下水の完備
- 中央に依存しない財政となること
- コンビニや買い物の利便さ
- 世界に誇れる町にする
- 過疎地域を暮らしやすくしてほしい
- 旧町それぞれ個性を財政的にも尊重すること
- 地域の自主性を育てる予算配分

35

合併してからの不満や不安に思う方の意見

- 職員の数が変わっていない。
- 変わってない
- 市役所職員の態度、対応に不満
- 各窓口（部署）の職員の対応知識が薄く低い
- 子育てをしにくくなった
- 財政問題
- 市行政が指導力がなく、行く先が見えてこない
- 4町が活性化されずすい退してきた
- 個人商店に元気がない
- 若者を目的とするような店がない
- 中心地ばかり市の目が向いている
- 市民と行政との距離感が広がった
- 特に合併で恩恵を感じたことがない。身近な行政とは感じない
- 園部の町ばかりが整備されているような感じがするの。八木は何も進んでない
- 支所に人が多すぎる。人件費削減等。合併のメリットが活かせていない
- 旧町単位の考えがバラバラである
- 合併していても中心地区だけ特別としていることがある。4町の足並みが乱れている
- 会議等が中心部で開催される事が多い
- 過疎化が進んでいる
- 医療費

## IV アンケート調査結果（市民の意見）

36

将来の南丹市をどのようなまちにしたいかの意見

- 多くの若者が訪れる活気のあるまち
- 安心して住めるまち
- 病院、医療機器及び医師の能力が充実したまち
- 教育施設の十分なまち
- 市民が生き生きとして希望の持てるまち
- 若者が定住しやすいまち
- 杉や桧に偏った林業を見直し、山や田畑の美しいまち

37

住みよいまちにするために、市民の皆さんができることの意見

- 自治会行事等への積極的参加すること
- ごみ問題
- 住んで良かったと思える魅力ある町づくりの意識を共有すること
- 区や組などの地域の役職に、もっと女性を登用、活用するよう働きかけを強めること
- 地域を愛すること
- 地域の行事や集まりを増やすこと

38

『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができるか意見

- 地域資源のほりおこし
- 人それぞれの出来る事をやっていくこと

## IVアンケート調査結果（市民の意見）

39

### 南丹市が行っている行政サービスに満足できない意見

問30で「4. どちらかといえば満足していない」「5. 満足していない」を選んだ方にどのような点が不満かを聞きました。

最も多かった満足できない意見は「市役所（職員）の対応」でした。

その他の意見は主に下記のとおりです。

● 市役所（職員）の対応	27件
● 行政サービスに対する説明・市民への情報提供不足	21件
● まちづくり、市政に関する事	26件
● 医療・福祉のサービスに関する事	9件
● 税金に関する事	9件
● 交通の便の悪さ	8件
● 市施設の管理や運用に関する事	5件
● 少子化・子育て支援に関する事	4件
● インターネット・CATVに関する事	4件

40

### 南丹市のまちづくりに対する提案・意見

まちづくりに対して、提案やご意見をお聞きしましたところ、398件のご意見をいただきました。

主な分類は次のとおりです。

● 市が行う施策や事業の取り組む姿勢に関する事	108件
● 市街地活性化を含め、まちづくりや地域の活性化に関する事	54件
● 公共交通機関の充実・整備に関する事	38件
● 商業の活性化に関する事	23件
● 若者定住に向けた取り組みに関する事	21件
● 駅舎及び駅周辺の整備に関する事	21件
● 市内における道路網の整備・充実に関する事	20件
● 市職員の資質向上に関する事	16件
● 市民協働の推進に関する事	2件
● その他	95件